



2018/2019

SAJ アルペン委員会

競技ハンドブック

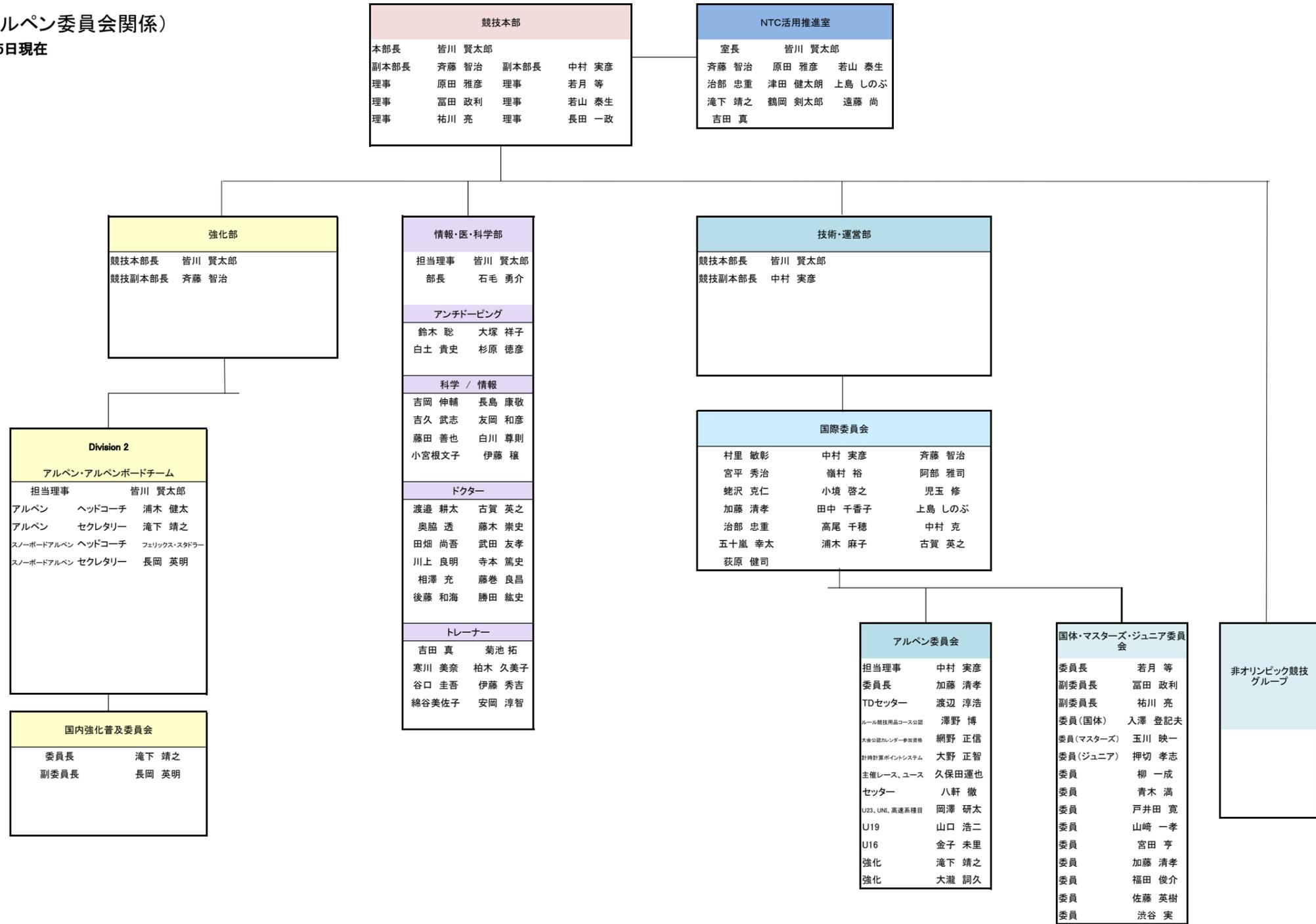
公益財団法人 全日本スキー連盟 (Ski Association of Japan, SAJ)
競技本部 技術・運営部 アルペン委員会 (Alpine Committee)

アルペン技術・運営ハンドブック

目 次

組織	2018-19 競技本部アルペン委員会関係組織図	1		
	アルペン委員会及びワーキンググループ	2	~ 3	
Division 2	ナショナルチームメンバー	4		
	ナショナルチームスタッフ	5		
	ワールドカップカレンダー	6	~ 7	
	世界選手権派遣選考基準	8		
	ジュニア世界選手権派遣選考基準	9		
	アルプチンブラの派遣選考基準	10	~ 11	
	海外FIS大会参加・許可基準	12	~ 13	
ユース	ユース大会開催要領	14	~ 17	
	FIS有資格者(ユースランキング)	18	~ 19	
	ユースK1レースの廃止について	20	~ 21	
大会運営	スキー用品国内規定	22	~ 28	
	SAJ公認大会カレンダー	29	~ 30	
	公認大会開催制限	31		
	SAJ公認大会出場資格	32	~ 33	
	主要大会派遣役員一覧	34		
	マテリアルコントロール器材輸送計画	35		
計時・計算	SAJポイントペナルティー表	36		
	ポイント更新カレンダー	37		
	アルペンリザルト作成留意事項	38	~ 39	
	アルペンSAJポイント計算方法	40		
	SAJ送付リザルト	41	~ 42	
	アルペンリザルト等 送信先一覧	43		
	DS-DF-DQ チェックリスト	44		
	テクニカルデータ確認書	45		
Homologated Timing Equipment	46	~ 47		
コース公認	公認コース 一覧 スラローム	48	~ 51	
	公認コース 一覧 ジャイアントスラローム	52	~ 54	
	公認コース 一覧 スーパーG	55		
	公認コース 一覧 ダウンヒル	56		
	SAJコース公認手続	57		
	FISコース公認手続	58		
資格認定 (TD)	加盟団体・ブロック主管事業	59		
	アルペンTD 受験手順	60		
	公認技術代表アルペン部細則(改正版)	61		
	アルペンTD 候補者推薦書(様式)	62		
	アルペンTD検定 申請書(様式)	63		
	SAJ-TD旅費精算書	64		
	SAJ公認技術代表(TD)名簿	65	~ 66	
	(セッター)	セッター小委員会事業計画	67	
		公認セッター資格受験手順	68	
		A級セッター検定実務終了報告書(様式)	69	
セッター検定会申込書		70		
	セッター研修会申込書	71		
競技者登録	SAJ・FIS競技者の事後登録	72	~ 76	
	SAJ競技者登録宣誓書	77		
	FIS競技者登録宣誓書	78		
その他	FIS脳震盪ガイドライン	79	~ 87	
	アルペン委員会ディレクトリー	88		

競技本部組織機構図(アルペン委員会関係)
平成30年11月5日現在



競技本部 SAJ 技術・運営部
アルペン委員会

担当理事

中村 実彦（長野県）

委員長

加藤 清孝（秋田県）

委員及び主担領域

渡辺 淳浩（宮城県）：TD

澤野 博（学連）：ルール、コース公認

網野 正信（北海道）：レース公認、カレンダー

大野 正智（北海道）：計時計算、ポイントシステム

八軒 徹（滋賀県）：セッター

久保田 運也（東京都）：主催レース管理

岡澤 研太（学連）：U23、UNI レース、高速系レース

山口 浩二（石川県）：U19

金子 未里（秋田県）：U16

滝下 靖之（北海道）：ナショナルチームセクレタリー兼務

大瀧 詞久（長野県）：国内担当チーフコーチ兼務

競技本部 SAJ 技術・運営部
アルペン委員会 ワーキンググループ

【ワーキンググループ】

TD 問題担当 WG (主担当 渡辺淳浩)

関 理奈	長野県
岡崎 若華	山形県
神崎 信彦	学連
谷口 充	北海道
松本 和也	群馬県
片桐 幹雄	長野県

U23 問題担当 WG (主担当 岡澤研太)

相原 博之	学連
杉山 裕彦	学連

U19 問題担当 WG (主担当 山口浩二)

玉川 祐介	北海道
藤木 剛	秋田県
源田 道昭	栃木県
横山 良	新潟県
高橋 佑介	岐阜県
吉田 和生	京都府

大会運営問題担当 WG (主担当 網野正信)

相原正裕	福島県
森 晃	長野県
水田奈央生	岐阜県

セッター問題担当 WG (主担当 八軒徹)

新 敏彦	北海道
新村 栄司	長野県
宮田 亨	長野県
生田 康宏	秋田県
畑中 直哉	京都府

U16 問題担当 WG (主担当 金子未里)

高橋 仁	秋田県
吉村 良平	新潟県

計時計算問題 WG (主担当 大野正智)

堀 恭吾	北海道
吉田 光彦	岩手県
武石 安弘	秋田県
萩原 大介	栃木県
葦澤 新太郎	東京都
戸谷 龍一	長野県
藤島 信一郎	石川県
江原 正光	鳥取県

2018/2019 Japan Ski Team 【アルペン】

Division 2

平成30年4月20日理事会承認

ランク	No.	氏名	フリガナ	性別	生年月日	年齢	チーム名	加盟団体
A	1	成田 秀将	ナリタ ヒデユキ	男	1993年9月23日	25	カワサキフィールドSC	茨城県
A	2	石川 晴菜	イシカワ ハルナ	女	1994年7月20日	24	木島病院	石川県
A	3	安藤 麻	アンドウ アサ	女	1996年4月24日	22	東洋大学	学連
U23	4	石橋 未樹	イシバシ ミキ	女	1996年4月23日	22	東海大学	学連
U23	5	荒井 美桜	アライ ミオ	女	1997年3月18日	21	サンミリオンSC	福岡県
U21	6	加藤 聖五	カトウ セイゴ	男	1998年4月14日	20	野沢温泉SC	長野県
U20	7	若月 隼太	ワカツキ ハヤタ	男	1999年1月26日	19	近畿大学	学連
U20	8	竹内 力音	タケウチ リオン	男	1999年8月29日	19	日本体育大学	学連
U20	9	富井 雪奈	トミイ ユキナ	女	1999年6月11日	19	東海大学	学連
U19	10	若月 新	ワカツキ アラタ	女	2000年3月17日	18	東海大学	学連
U18	11	相原 史郎	アイハラ シロウ	男	2001年1月20日	17	東海大学付属札幌高校	北海道
U18	12	佐藤 進太郎	サトウ シンタロウ	男	2001年2月24日	17	関根学園高校	新潟県
U18	13	畠中 悠生乃	ハタナカ ユキノ	女	2001年10月12日	17	札幌第一高校	北海道
U18	14	君島 王羅	キミシマ オーラ	男	2002年6月28日	16	足利大附属高校	栃木県
U18	15	片山 龍馬	カタヤマ リョウマ	男	2003年12月23日	14	啓北中学校	北海道
U18	16	幸田 康義	ユキタ ヤスヨシ	男	2004年5月1日	14	小樽銭函中学校	北海道
U18	17	小林 唯太	コバヤシ ユイタ	男	2004年4月20日	14	山ノ内中学校	長野県
U18	18	三原 幹	ミハラ モトキ	男	2005年1月24日	13	菅平中学校	長野県
U18	19	山本 洸貴	ヤマモト コウキ	男	2005年7月19日	13	山ノ内中学校	長野県
U18	20	渡邊 愛蓮	ワタナベ エレン	女	2003年4月18日	15	戸隠中学校	長野県
U18	21	水谷 美穂	ミズタニ ミホ	女	2003年1月3日	15	角館高校	秋田県
U18	22	天野 ひかり	アマノ ヒカリ	女	2003年11月30日	15	留辺蘂スキー少年団	北海道
U18	23	横尾 彩乃	ヨコオ アヤノ	女	2003年9月5日	15	戸隠中学校	長野県
U18	24	増田 さくら	マスダ サクラ	女	2005年4月6日	13	旭川ジュニアアルペンチーム	北海道
W	25	大越 龍之介	オオコシ リュウノスケ	男	1988年11月29日	30	株式会社東急リゾートサービス	北海道
W	26	新 賢範	シン マサノリ	男	1993年7月22日	25	Brain	北海道
W	27	向川 桜子	ムコウガワ サクラコ	女	1992年1月20日	26	秋田ゼロックス株式会社	秋田県

2018/2019 Japan Ski Team Division2 コーチングスタッフ

【アルペン】

平成30年4月20日理事会審議

No.	役職	氏名	フリガナ	性別	生年月日	年齢	所属クラブ	加盟団体
1	担当理事	皆川 賢太郎	ミナガワ ケンタロウ	男	1977年5月17日	41	プリンスホテルスキー部	新潟県
2	ヘッドコーチ	浦木 健太	ウラキ ケンタ	男	1975年2月13日	43	なし	
3	セクレタリー	滝下 靖之	タキシタ ヤスユキ	男	1976年1月31日	42	Mt. 石井スポーツスキークラブ	北海道
4	アドバイザー	佐々木 明	ササキ アキラ	男	1981年9月26日	37	ICI石井スポーツスキークラブ	東京都
5	男子テクニカルコーチ	安食 真治	アジキ マサハル	男	1980年4月2日	38	蔵王クラブ	山形県
6	男子テクニカルコーチ	長田 新太郎	オサダ シンタロウ	男	1976年2月3日	42	清里スキークラブ	山梨県
7	女子ヘッドコーチ /テクニカルコーチ	HOELLRIGL Georg Anton	ゲオルグ・ヘルリグル	男	1961年7月26日	57	なし	
8	女子アシスタントコーチ	三増 健一	ミマシ ケンイチ	男	1971年3月4日	47	なし	
9	アシスタントコーチ	本田 浩樹	ホンダ ヒロキ	男	1982年8月4日	36	サンミリオンSC	福岡県
10	トレーナー、 フィジカルコーチ兼務	柏木 久美子	カシワギ クミコ	女	1978年10月9日	40	スキーイングワールド・苗場スキーアカデミー	新潟県
11	男子サービスマン	金田 健	カナダ タケン	男	1977年8月17日	41	スポーツユニティ	東京都
12	女子サービスマン	KOLAR Miroslav	ミロ斯拉ヴ・コラー	男	1961年12月6日	56	なし	
13	国内ヘッドコーチ	大瀧 詞久	オオタキ ノリヒサ	男	1977年3月29日	41	野沢温泉スキークラブ	長野県
14	国内担当コーチ	佐藤 久哉	サトウ ヒサヤ	男	1972年5月23日	46	ロングクルーズスキークラブ	東京都
15	国内担当コーチ	坂井 優	サカイ マサル	男	1975年10月8日	43	稚内スキー連盟	北海道
16	国内担当コーチ	金子 未里	カネコ ミサト	女	1988年9月27日	30	太田町スキー連盟	秋田県
17	国内担当コーチ	宮津 大樹	ミヤツ ダイキ	男	1988年10月11日	30	志賀高原スキークラブ	長野県
18	国内担当コーチ	久保田 運也	クボタ カズヤ	男	1988年6月8日	30	フリースキークラブ	東京都
19	国内担当コーチ	平田 令吾	ヒラタ リョウゴ	男	1982年2月12日	36	朴の木平スキークラブ	岐阜県
20	トレーナー、 フィジカルコーチ兼務	橘井 健治	キツイ ケンジ	男	1980年10月15日	38	札幌第一高校	北海道
21	国内トレーナー	柿谷 朱実	カキタニ アケミ	女	1978年6月6日	40	なし	

FIS SKI WORLD CUP 2018/19

LADIES

Date	Day	Site	Nation	DH	SG	GS	SL	AC	Parallel Event	Remarks
October 18 26.	Sat	Sölden	FIS/AUT			X				Opening L & M
November 18 17.	Sat	Levi	FIN				X			L & M
24.-25.	Sat-Sun	Killington	USA			24.	25.			
December 18 30.11.-02.	Fri-Sun	Lake Louise	CAN	XX	02.					
08.-09.	Sat-Sun	St. Moritz	SUI		08.				09.	PSL
14.-16.	Fri-Sun	Val d'Isère	FRA	15.	16.			14.		AC (DH+SL)
21.-22.	Fri-Sat	Courchevel	FRA			21.	22.			
28.-29.	Fri-Sat	Semmering	AUT			28.	29.			
January 19 01.	Tue	Oslo	NOR						X	City Event L & M
05.	Sat	Zagreb	CRO				X			
08.	Tue	Flachau	AUT				X			Night Event
12.-13.	Sat-Sun	St. Anton	AUT	12.	13.					
15.	Tue	Kronplatz	ITA			15.				
19.-20.	Sat-Sun	Cortina d'Ampezzo	ITA	19.	20.					
26.-27.	Sat-Sun	Garmisch-Partenkirchen	GER	26.	27.					
February 19 01.-02.	Fri-Sat	Maribor	SLO			01.	02.			
19.	Tue	Stockholm	SWE						X	City Event L & M
23.-24.	Sat-Sun	Crans-Montana	SUI	23.				24.		AC (DH+SL)
March 19 02.-03.	Sat-Sun	Rosa Khutor	RUS	02.	03.					
08.-09.	Fri-Sat	Spindleruv Mlyn	CZE			08.	09.			
13.-17.	Wed-Sun	Soldeu	AND	13.	14.	17.	16.		15.	Finals L&M, ATE
Total resorts 21 / competitions 40				9	8	8	9	2	1+2+1	PSL+CE+ATE

FIS Alpine World Ski Championships Are (SWE) 05.-17.02.2019

FIS SKI WORLD CUP 2018/19

MEN

Date	Day	Site	Nation	DH	SG	GS	SL	AC	Parallel Event	Remarks	
October 18 27.	Sun	Sölden	FIS/AUT			X				Opening L & M	
November 18 18.	Sun	Levi	FIN				X			L & M	
24.-25.	Sat-Sun	Lake Louise	CAN	24.	25.						
December 18 30.-02.	Fri-Sun	Beaver Creek	USA	01.	30.	02.					
08.-09.	Sat-Sun	Val d'Isere	FRA			08.	09.				
14.-15.	Fri-Sat	Val Gardena/Gröden	ITA	15.	14.						
16.-17.	Sun-Mon	Alta Badia	ITA			16.			17.	PGS Night Event	
22.	Sat	Madonna di Camp.	ITA				X			Night Event	
28.-29.	Fri-Sat	Bormio	ITA	28.	29.						
January 19 01.	Tue	Oslo	NOR						X.	City Event L & M	
06.	Sun	Zagreb	CRO				X				
12.-13.	Sat-Sun	Adelboden	SUI			12.	13.				
18.-20.	Fri-Sun	Wengen	SUI	19.			20.	18.		AC (DH+SL)	
25.-27.	Fri-Sun	Kitzbühel	AUT	26.	25.		27.				
29.	Tue	Schladming	AUT				X			Night Event	
February 19 02.-03.	Sat-Sun	Garmisch-Partenk.	GER	02.		03.					
19.	Tue	Stockholm	SWE						X	City Event L & M	
22.-24.	Fri-Sun	Bansko	BUL		23.	24.		22.		AC (SG+SL)	
March 19 02.-03.	Sat-Sun	Kvitfjell	NOR	02.	03.						
09.-10.	Sat-Sun	Kranjska Gora	SLO			09.	10.				
13.-17.	Wed-Sun	Soldeu	AND	13.	14.	16.	17.		15.	Finals L&M, ATE	
Total resorts 20 / competitions 42					9	8	9	10	2	1+2+1	PGS+CE+ATE

FIS Alpine World Ski Championships Are (SWE) 05.-17.02.2019

2019 F I S アルペン世界選手権派遣選考基準

日程・ 場所	開催期日 : 2019 年 2 月 5 日～2 月 17 日 開催場所 : スウェーデン・オーレ
競技種目	アルペンスキー種目
選考期限 (基準日)	2019 年 2 月 3 日
選考発表日	2019 年 2 月 4 日 全日本スキー連盟公式ホームページにて公開
派遣人数	・ 出場枠 (クォータ) 数内において当該種目で派遣基準を満たした選手 ・ 男女共各種目 4 名迄
派遣基準	<p>① 2017/2018シーズン及び2018/2019シーズン(基準日まで)におけるWCにおいて下記のいずれかの成績を収めた選手。ただし、成績は当該種目のみの基準とする。(1)8位以内の成績を1回以上 (2)20位以内の成績を2回以上(2シーズン合計)</p> <p>② 第97回全日本スキー選手権大会アルペン競技技術系において各種目の優勝者を推薦する。 男子大回転1名、女子大回転1名、男女回転 各1名 ※同着優勝の場合は、直近の“FISポイントリスト”上位選手を優先する</p> <p>■対象選手が出場枠 (クォータ) を超過した場合は①の基準を優先とする。 ①が複数名いる場合において出場枠を超過した場合は、基準日の当該種目のワールドカップポイントの上位者より優先する</p> <p>■出場種目は基準を満たした当該種目のみ出場を認める。またAC種目及びParallel Event種目は選考基準を満たした選手の中よりナショナルチームが出場判断する場合がある。</p> <p>■出場対象者が出場を辞退の場合、②基準での繰り上げ選考及び選手交代は行わない。</p>

平成 30 年 12 月 5 日
全日本スキー連盟
Division2 アルペン

2019 F I S アルペン世界ジュニア選手権派遣選考基準

日程・場所	開催期日 : 2019 年 2 月 18 日～2 月 27 日 開催場所 : Val di Fassa (I T A) 対象選手 : J1 及び J2
競技種目	アルペンスキー種目
選考期限	2019 年 1 月 20 日
選考発表日	2019 年 1 月 24 日
派遣人数	男子 4 名迄 / 女子 4 名迄
派遣基準	<p>① 2019FIS ポイントリスト No. 12 の SL、GS、SG 種目において FIS ポイントランキング男子 230 位、女子 150 位以内の選手。</p> <p>② 第 97 回全日本スキー選手権大会アルペン競技技術系において、世界ジュニア参加資格を持つ選手（1998 年-2002 年生まれ）より各種目の資格内優勝者を推薦する。男子大回転 1 名、女子大回転 1 名、男女回転 各 1 名 ※同着優勝の場合は、直近の“FIS ポイントリスト”上位選手を優先する。</p> <p>③ 派遣基準をクリアした選手は SG、GS、SL、AC の参加が出来る。</p> <p>④ 出場対象者が出場を辞退の場合、②基準での繰り上げ選考及び選手交代は行わない。</p> <p>⑤ J1 対象選手を派遣する場合は、第 97 回全日本スキー選手権大会アルペン競技技術系において、J1 選手（2000 年-2002 年生まれ）の上位者よりナショナルチームが推薦する。</p> <p>■対象選手が出場枠（クォータ）を超過した場合は①の基準を優先とする。 ①が複数名いる場合において出場枠を超過した場合は、基準日の FIS ポイントランキングの上位者より優先する</p>

2019 アルプチンブラ大会派遣選考基準

日程・ 場所	開催期日 : 2019年3月13日～3月16日 開催場所 : イタリア ・ フォルガリア
競技種目	アルペンスキー種目
選考期限(基準日)	2019年2月12日
選考発表日	2019年2月15日 全日本スキー連盟公式ホームページにて公開
派遣人数	男子最大3名/女子最大3名
派遣基準	<p>① 対象選手</p> <p>18-19 シーズン U16 該当年齢(中2遅生まれ、中3、高1早生まれ選手) 18-19シーズンU14の中1、中2早生まれ選手。</p> <p>② 対象レース</p> <p>第56回全国中学校スキー大会(2019年2月4日～2月7日 新潟県) 第68回全国高等学校スキー大会(2019年2月8日～2月12日 秋田県)</p> <p>③ 派遣内容</p> <p>(1) 全国中学校スキー大会各種目優勝者。 (2) 全国高校スキー大会各種目5位以内最上位者で、高校1年生早生まれの競技者。 (3) 以上の基準をクリアした選手から男女各最大3名を選出する。 (4) 男女それぞれで3名以上の対象者が出た場合は以下を優先する。</p> <p>1) 権利獲得以外の種目でのレースポイントの少ない選手</p>

	<p>2) SAJポイント技術系2種目の平均(選考レース時点での有効リスト採用)</p> <p>3) 18-19シーズンナショナルチーム選手</p> <p>(5) U14の派遣は選考基準(1)対象者の中にU14選手がいた場合のみ行う。</p> <p>(6) エントリーはSAJポイント順(選考レースがすべて終了した時点での有効リスト)で、種目毎に行う。</p> <p>(7) 選手の繰上げは行わない。</p> <p>(8) チームイベントの参加は選手が男女各2名以上の場合行う。その場合の選手選考はSAJポイント技術系2種目の平均にて行う。(選考レース時点での有効リスト採用)</p>
--	--

平成 30 年 11 月 13 日

各加盟団体アルペン担当者および選手 各位

公益財団法人全日本スキー連盟
 競技本部長 皆川賢太郎
 アルペン委員長 加藤清孝

アルペン競技に係わる 2018/2019 海外 FIS 公認大会参加許可および許可基準について

標記について、2018 年 6 月 29 日付で各加盟団体には通知を致しましたが、アルペン競技の海外 FIS 公認大会参加許可および許可基準について、再度、周知致しますので海外 FIS 公認大会参加を検討の皆様は、内容をご理解いただき、加盟団体を通じて申請を行って下さい。

特に、次の点にご注意下さい：

1. 申請時には当該年度の SAJ 会員登録、SAJ および FIS 競技者登録を完了していなければなりません。
2. 国際ライセンスは FIS の競技者登録が完了した時点で付与されます。
 ※ 国際ライセンスは、出場枠を保証するものではありません
3. 大会参加申請は全て【加盟団体→SAJ 事務局】となります。
4. 加盟団体から SAJ 事務局への申請期限を出場希望大会期日の 2 週間前までとし、期限を越えての申込みは一切受け付けません。
 ※ エントリー状況を SAJ ホームページ内「ライブラリー」にアップします。最終エントリー状況を公表するために、期限の厳守をお願い致します
 ◎ エントリーを完了した参加予定レースが自然環境等の理由によりキャンセルになった場合で代替レース（同 codex）が開催される場合は、2 週間を切ったのエントリー申請を認めます。同 codex の代替レースであっても、現地大会 OC から再度エントリーを求められる場合もあり、またダブルエントリーを防ぐ目的により、加盟団体を通じて SAJ 事務局に再度申請をして下さい。また、引率責任者に変更があった場合もお知らせ下さい。
5. 大会 OC へエントリーをする際、引率責任者をメールの CC に入れますので、申請書の「引率責任者連絡先」欄には必ずメールのアドレスを記載して下さい。「引率責任者連絡先」欄にメールアドレスが記載されていない場合、CC で共有できませんのでご了承ください。
6. 国際競技規則により、ダブルエントリー（一競技者が開催地の違う同日大会に複数のエントリーをすること）は認められていません。申請時には参加を希望する大会を精査の上、申請して下さい。
7. 中国・韓国・ロシアで開催される FEC、および FEC に連動する FIS レースの申込みについては、SAJ 事務局より加盟団体に別途案内致します。
8. 過年度まで実施していた開催地の NSA に申請するダブルクォータのシステムは、認められなくなりました。つきましては、事前にクォータを増やす方法として、「特別クォータ」があります。各 NSA から申請された特別クォータは、FIS 秋季会議・クラシフィケーション小委員会において審議されます。特別クォータの申請を希望する加盟団体は、2019 年 9 月 5 日までに SAJ アルペン委員長までご連絡下さい。アルペン委員会にて審議の上、クラシフィケーション小委員会に申請を行います。
 - アルペン委員長 加藤清孝 (katoalpine@gmail.com)
 - FIS より申請が認められた場合も、特別クォータは SAJ に与えられたものであり、申請加盟団体選手の出場を確約するものではありません。
9. 日本のクォータを越えたエントリーがあった場合、次の順で出場優先権が与えられます：
 - ① 2018/2019 シーズン SAJ 遠征派遣メンバー
 - ② 2018/2019 シーズン SAJ 強化指定選手
 - ③ FIS/SAJ ポイントランキング順（当該大会の適用リストによる）

アルペン	
申請が必要な大会カテゴリー	申請不可の大会カテゴリー以外に該当するもの
申請不可の大会カテゴリー	WSC、WC、WJC、EC
ポイント／ランキング基準	<p>1. ENL、FIS、NC、NJR、NJC、CIT、UNI、その他申請不可の大会カテゴリー以外に該当するもの 基準なし</p> <p>2. COC</p> <p>(1)NAC(ノースアメリカンカップ) 最新 FIS ポイント 120 点以内 DH・SG・SC 160 点以内</p> <p>(2)SAC (サウスアメリカンカップ) 最新 FIS ポイント SL・GS 140 点以内、DH・SG・SC 160 点以内</p> <p>(3)ANC (オーストラリア・ニュージーランドカップ) 最新 FIS ポイント SL・GS 140 点以内、DH・SG・SC 160 点以内</p> <p>(4)FEC (ファーイーストカップ) 認められた中で調整する。</p> <p>注(1)～(4)の各大会にエントリーする場合は、下記の通り、上記の基準をクリアしていること。</p> <p>◎SL・GS にエントリーする場合、DH・SG・GS・SL のいずれかで上記基準をクリアしていること。</p> <p>◎DH にエントリーする場合、DH・SG のいずれかで上記基準をクリアしていること。</p> <p>◎SG にエントリーする場合、DH・SG・GS のいずれかで上記基準をクリアしていること。</p> <p>◎SC (DH で行う場合) にエントリーする場合、DH・SG のいずれかで上記基準をクリアしていること。</p> <p>◎SC (SG で行う場合) にエントリーする場合、DH・SG・GS のいずれかで上記基準をクリアしていること。</p> <p>(注) 大会クォータをオーバーした場合の優先順位は、上記 9 を参照</p>
その他の条件	<p>【引率責任者】 海外大会へは、引率責任者と共に参加することが望ましい。但し、20 歳未満の選手、及び、スピード系種目については引率責任者が必ず帯同しなくてはならない。引率責任者とは、申請書によって推薦される加盟団体が認めた者に限る。また、申請選手と同一大会に出場する他の選手が引率者を兼務することはできない。選手と引率責任者は申請書に携帯番号、メールアドレスを明記し、SAJ 及び現地大会組織委員会と迅速に連絡が取れるようにする。</p> <p>【エントリー】 原則、全てのエントリーを SAJ 担当者が行う。 現地到着後、現地大会事務局と自身のエントリーがなされているかの確認を各個人が必ずすること。</p> <p>【現地出場手続き】 現地への渡航、エントリー費用の支払い、大会ミーティング参加、ビブの取得等、現地出場手続きについては各個人の責任において行うこと。また、参加キャンセルの場合については各個人の責任において直接大会事務局へ連絡する。</p> <p>【現地宿泊手配】 宿泊手配については過年度通り各自において手配をする。</p> <p>【参加許可】 「参加許可＝出場枠(クォータ)の保証」ではない。クォータオーバーした場合は許可基準に従って出場する。本連盟ホームページ(ライブラリー)に本連盟が参加を許可した申請内容一覧を掲載するので、クォータオーバー等について各自で確認すること。 ※申請内容一覧は随時更新する</p>
申請書の提出期限	大会期日の 2 週間前まで に SAJ 必着。

2018/2019 シーズン
SAJ 公認アルペンユース競技会開催要領

1 概要

1. 大会名称を「ユース競技会」とする。
2. SAJ 公認アルペンユース競技会には、小学校 5 年生から高校 1 年生早生まれの競技者が出場できる。また、年齢と学年により、K1 と K2 に区別される。
3. K1 カテゴリーは小学校 5・6 年生の競技者、K2 カテゴリーは中学生と高校 1 年生早生まれの競技者が出場できる。
4. 競技ルールは、FIS 国際アルペン競技ルールと本要領に基づいて行われる。
5. 競技ルールと競技用具ルールは、K2 カテゴリーは U16、K1 カテゴリーは U14 を適用する。
ただし、本要領に定めることを優先する。
6. 競技会公認料は SAJ 規約規程集、各種公認・登録等料金一覧表の通りとする。

2 出場資格について

1. SAJ 競技者登録が完了され、大会要項に記載されている出場資格を満たしている競技者。

3 種目について

1. ICR 608.6.1 に準ずるものとする。
2. SG の方向転換数を 8～12%とする。
3. GS について
 - 1) K2 は 2 本レースとする。K1 は 2 本レースが望ましい。
 - 2) 方向転換数を 13～18%とする。
(ターニングポール間 MAX 27m、デイレイトゲートコンビネーションの場合はデイレイトゲートから次のターニングポール間 MAX27m)
4. SL について(K1・K2 共通ルールとする)
 - 1) 方向転換数を 32～38%+/-3 とする。
(ターニングポール間 K1・K2:7m～11m、デイレイトゲートコンビネーションのターニングポール間 K1・K2:12m～15m)
 - 2) 最少 3 箇所、最大 6 箇所のヘアピンと、最少 1 箇所、最大 3 箇所のヴァーティカルコンビネーション(最少 3～最大 4 つのゲートからなる)を設置しなければならない。最少 1 箇所、最大 3 箇所のディレイドゲートコンビネーションを設置しなければならない。

4 使用コースについて

1. SAJ 公認コースとする。
2. 各種目の標高差は下記の通りとする。
 - 1) SG : K1 は 250m-400m、K2 は 250m-450m
 - 2) GS : K1 は 140m-300m、K2 は 160m-350m
 - 3) SL : K1/K2 共通 100-160m
 - 4) KB : 120m-200m
3. SG は GS 公認コースでも開催できる(ただし、ルールや安全性を満たしていること)。
4. GS は SL 公認コースでも開催できる(ただし、ルールや安全性を満たしていること)。

5. KB は、GS 公認コースを原則とするが、SL 公認コースでもできる(ただし、ルールや安全性を満たしていること)。

5 エントリーについて

1. エントリーは各都府県単位とする。このことは、大会開催要項に明記されなければならない。

6 スタート数の制限について

1. 中学校3年生・高校1年生早生まれは制限なしとする。
2. 技術系(GS/SL)合計、小学校5・6年生は8レース以内、中学校1・2年生は10レース以内、とする。スタート数が順守されているかの確認は各都道府県で行う。
3. K1、K2共にスピード系(SG)は、制限なしとする。
4. 「SAJポイントレースにおいて公式成績表が発行され、1本目のDNS以外で名前が掲載されている場合」スタートしたものとする。DNQ、DNF、2本目のDNSもスタートとみなされる。レース/ペナルティーポイントが選手に付与される形でレースが成立しない場合は、スタートを切っても、スタート数にカウントされない。レースが天候等により、途中キャンセルされた場合は、スタート数にカウントされない。
5. 項目6-2に違反した場合は、当該選手の違反したレースでの取得ポイントを無効とする。但し、違反を知りながら参加する等の悪質な違反者に対しては次年度1月31日までSAJ公認大会のエントリーを禁止するとともに、同期間、FISライセンスを発行しない。
6. 全国中学、全日本ジュニアスキー選手権(中学生)SGならびに全日本選抜ジュニアスキー選手権(中学生)SG(以下栗石SGと表記)、JOCジュニアオリンピックカップ、予選会(全国高校、全国中学、国体)のスタートはこの制限に含めない。

7 スタート順について

1. 18-19各ブロックのユース競技会については、次の通りとする。

K1:フリードローとする。

K2:SAJポイントを採用し、上位15名タイまでをドロー、以降はポイント順とし、ノーポイントはドローとする。*但し全国中学は含まない。

8 K1・K2 SAJポイントについて

1. 競技者には、SAJポイントをつける。FISルールに基づいてペナルティーポイントを計算し、計算ペナルティを採用する。一方、規定のミニマムペナルティー値(下表)を下回った場合は、ミニマムペナルティー値をペナルティーポイントとして採用する。

SAJ カテゴリー	Race Level	ミニマムペナルティ	マキシマムペナルティ
SAJ-A(K2)・B(K2)	5	50.00	999.00
SAJ-A(K1)・B(K1)	6	70.00	999.00

種目	F 値	Race Level 1~5 マックスポイント	Race Level 6(K1) マックスポイント
SG	1190	250.00	330.00
GS	1010	200.00	310.00
SL(K)	730	145.00	280.00

2. 16歳以上のB級大会(B級公認各都道府県選手権大会も含む)と併催する場合、K1、K2は、ユースルールに従ってレースを実施する。K1、K2、16歳以上のブロックでスタートさせることにより、SAJポイントが認められる。

9 JOC ジュニアオリンピックカップについて

1. 種目は、K1はSGとSLとし、K2はGSとSLとする。
 2. 出場資格は次の通りとし、2種目出場とする。
 - K2 1) 各都道府県に割り当てられたエントリー数内で各都道府県で選抜された競技者
 - 2) 当該シーズンの全国中学校スキー大会各種目10位以内の競技者
 - 3) 当該シーズンの全国高校スキー大会各種目20位以内で、高校1年生早生まれの競技者
 - 4) 当該シーズンの雫石SGで3位以内の競技者
 - 5) 当該シーズンのナショナルチームU16選手
 - 6) 開催地枠として、割り当てられた数+2名
 - 7) 17-18本大会K1カテゴリにおいて各種目3位以内入賞者(中学1年生が対象)
 - K1 1) 各都道府県に割り当てられたエントリー数内で、各都道府県で選抜された競技者
 - 2) 17-18本大会において10位以内に入賞した小学校5年生に関しては次年度の本大会において特枠シードを与える。特枠シードを獲得した選手は出場権を得ると共に、該当種目の第1グループに加えて抽選を行う。
 - 3) 各種目上位3位以内入賞者(小学6年生)は次年度本大会K2参加資格を与える。
 - 4) 開催地枠として、割り当てられた数+5名
 - 5) 当該シーズンのナショナルチームU16選手
3. K2のスタート順は、SAJポイントを採用する。
 - 1) 第1グループは15位タイまでで抽選を行う。
 - 2) 16位以降はポイント順とする。
 4. K1のスタート順は、いくつかのグループに振り分けて、グループ内で抽選を行う。スタートランキングは各都道府県が決定する。
 5. ここに定めること以外は、大会要項に従う。
 6. JOCジュニアオリンピックカップの開催地区と開催シーズンのローテーションは次の通りとする。
 - 1) <甲信越>2019年と2020年
 - 2) <北海道>2021年と2022年
 - 3) <東海北陸/南北関東/西日本>2023年と2024年
 - 4) <東北>2025年と2026年
 7. 開催にあたっての条件は以下の通りとする。
 - 1) 3月下旬(春休み期間中)で開催し、開催種目を安全に運営できること。
 - 2) 多様なコース設定が可能であり、コース状況が維持できること。
 - 3) 近隣に宿泊施設が十分にあること。交通の利便性が考慮されていること。

10 競技用品について

1. 選手が使用する用具は、2018年7月1日SAJホームページ掲載「2018-19シーズンスキー用具に係る国内運用ルールについて」を参照のこと。

- ヘルメットに関しては、17-18 に引き続き SAJ 公認大会においては、FIS ルールに従い義務付けとする。

11 大会主催者の責務について

- この要領に定めること以外は、FIS ルールに則り、安全に運営しなければならない。
- 選手の安全を確保するために、全種目で軽量ポール(25-28.9mm)を使用しなければならない。
- 大会要項競技規則項目に ICR 等とともに、「SAJ 公認アルペンユース競技会開催要領に基づく」を記載すること。またスタート数の制限に関する記述を入れること。

※スタート数の制限に関する記述の例

「技術系(GS/SL)合計、小学校 5・6 年生は 8 レース以内、中学校 1・2 年生は 10 レース以内、とする。中学校 3 年生・高校 1 年生早生まれは制限なしとする。」と定められているので、各カテゴリーにおいてスタート数がオーバーすることのないようにすること

- レース中にけが人が発生した場合は、指定のフォームを使用し、報告しなければならない。なお、報告書の作成は TD の業務である。

12 出場資格についての特記事項

- SAJ 公認アルペン B 級競技会には、K1 および K2 の中学 1・2 年生の競技者は出場できない。
- 中学 3 年生以上の競技者は、SAJ 公認アルペン B 級競技会ならびに国体少年男子の部に出場できる。その場合、16 歳以上の競技用品ルールに従わなければならない。
- 高校 1 年生早生まれの競技者は、霰石 SG と JOC ジュニアオリンピックカップに出場できる。

2002年生まれFIS有資格者（ユースランキング）男子

平成30年12月1日作成

NO.	氏名漢	県連盟	所属	合計 順位	4レース 合計	全中						磐石SG						JOC					
						SL			GS			SG①			SG②			GS			SL		
						順位	02順	P	順位	02順	P	順位	02順	P	順位	02順	P	順位	02順	P	順位	02順	P
1	中村 拓幹	群馬	沼田高校	1	115.5	12	8	23	2	2	28.5	1	1	30	1	1	30	5	4	27			
2	君島 王羅	栃木	足利大附属高校	2	113	3	2	29	6	6	25	19	13	18	52	27	4	1	1	30	3	2	29
3	黒岩 樹生	北海道	東海大学付属札幌高校	3	107	6	5	26	4	4	27	2	2	29	8	6	25						
4	山中 新汰	北海道	札幌第一高校	4	98	23	15	16	5	5	26	33	24	7	44	22	9	6	5	26	2	1	30
5	青木 理恩	山形	日大山形高等学校	5	89				7	7	24	11	7	24	29	15	16	7	6	25			
6	谷口 皓生	岐阜	飛騨神岡高校	6	83	20	14	17	26	19	12	18	12	19	20	11	20	26	18	13	5	4	27
7	天野 絢登	北海道	東海大学付属札幌高校	7	81	38	24	7				8	5	26	41	21	10	11	9	22	10	8	23
8	鈴木 一生	東京	慶應義塾高校	8	80	4	3	28	42	26	5				22	12	19	3	3	28			
9	松本 充史	北海道	双葉高校	9	79	2	1	30	10	8	23	65			65			17	14	17	37	22	9
10	廣嶋 溪介	秋田	十和田高校	10	78	18	12	19	46	30	1	16	11	20	10	8	23	18	15	16			
11	菅原 陸翔	(岩手)	(紫波第一中学校)	11	74				19	14	17	27	20	11	9	7	24				12	9	22
12	斎藤 宇哉	北海道	東海大学付属札幌高校	12	73	15	10	21				15	10	21	38	19	12	41	28	3	23	12	19
13	我満 龍治	北海道	札幌SS PRODUCTS 株式会社	13	70				1	1	30	34	25	6	63			34	22	9	8	6	25
14	中島 賢伸	栃木	足利工業大附属高校	14	66							22	15	16	7	5	26				9	7	24
15	進藤 拓海	北海道	東海大学付属札幌高校	15	59	10	7	24	13	10	21							22	17	14			
16	富士 聖弥	青森	東奥義塾高校	16	58				21	15	16	10	6	25	27	14	17						
17	宮澤 虎ノ介	北海道	双葉高校	16	58				15	11	20							29	19	12	6	5	26
18	桑原 太陽	長野	上田西高校	18	57.5				2	2	28.5							2	2	29			
19	峰村 岳臣	新潟	関根学園高校	19	55	8	6	25	23	16	15							20	16	15			
20	新村 龍司	長野	上田東高校	19	55				24	17	14	48			16	10	21	13	11	20			

※(〇〇県・〇〇学校)と表記の選手は現在未登録

平成 30 年 12 月 5 日

加盟団体アルペン担当者 各位

公益財団法人 全日本スキー連盟

競技本部長 皆川賢太郎

アルペン委員長 加藤 清孝



SAJ 公認ユースレース K1 カテゴリーの廃止について

平素より、本連盟の活動にご理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、10月14日に開催された競技本部連絡会議においてお知らせ致しましたとおり、2019/2020シーズンよりユース K1 カテゴリーの競技会を、SAJ ポイントを付与する公認レースとしないことに決定いたしました。

その主たる理由は、より良い SAJ ポイントの獲得を目指すことが、K1 レース参加者及びその保護者のアルペンスキー活動の過度のモチベーションとなっていることを、危惧するところにあります。

もとより、良い成績 (SAJ ポイント) を目指すことが悪いわけではありません。しかしながら、K1 (小学校 5 年生) より SAJ ポイント獲得を目指すことで、必然的に小学校低・中学年からゲート練習がスキー活動の主体となり、結果として、スキー技術の幅が狭くなり、将来の伸び代を小さくしているのではないかと我々は考えました。

今回アルペン委員会の決定は、加盟団体が SAJ 公認ユースレース K2 カテゴリーの開催と併せて、従来種目の加盟団体公認 K1 レースを開催していただくことを妨げるものではありません。しかしながら、SAJ 及び加盟団体公認レースから K1 カテゴリーが離れることで、次のような多様な形態の競技会の開催が可能になると考えます：

- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| - チームイベント | - ショートポール SL | - ウェーブ大会 |
| - パラレル種目 | - スキークロス | - 基礎技術評価大会 |
| - パネル SL | - ミニ DH | |

これらの種目を従来のレースに加えることで、K1 選手の技術の幅を広げることができると考えます。また、従来のポイントを付与しないこれら競技会には、ICR で定められた用具でなくとも参加することが可能となります。これらのことにより、アルペンスキー大会参加への間口を広げることも期待されます。

さらに、K1 を切り離すことにより、K2 レースコースの難度を上げることが可能となります。現在、多くの SAJ 公認ユースレースでは、K1 及び K2 が同じコースプロフィールで実施されています。小学校 5 年生から高校 1 年生早生まれまでが同一コースを使用し競技することは、選手強化上、又安全上、合理的とはいえません。K1 を切り離すことで、より K2 選手のレベルアップを考慮した大会運営が可能になると考えます。

以上の点を鑑み、アルペン委員会では 2019-2020 シーズンより SAJ 公認 K1 レースの廃止を決定致しました。なお、2018-2019 シーズンに取得された SAJ ポイントの取り扱いにつきましては、次の通

りと致します：

- 1) 現小学6年生：2019-20 シーズン K2 へ移行
- 2) 現小学5年生：2020-21 シーズン K2 へ加算なしで移行（※K2 初年度の SAJ 登録では、18-19 シーズンの SAJ 登録番号及び競技者番号を使用し、「更新登録」を行って下さい。）

なお、ジュニアオリンピックカップにつきましては、来季（2019/2020）まで K1 レースを開催いたします。ただし、来季 SAJ ポイントを付与いたしません。また、2020/2021 シーズン以降の開催につきましては、2019 年秋までに公表いたします。

公認大会制度の大きな改革であり、皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、主旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう、何卒、お願い申し上げます。

以上

年齢区分に関する国内運用ルール（2018/2019 シーズン）

SAJ 競技本部 ルール・公認施設小委員会 2018 年 7 月 1 日

※年齢区分一覧

生年	1997		1998		1999		2000		2001		2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008
学年	大4早	大3	大3早	大2	大2早	大1	大1早	高3	高3早	高2	高2早	高1	高1早	中3	中3早	中2	中2早	中1	中1早	小6	小6早	小5	小5早
FIS区分	FIS		U21 (FIS)					U18 (FIS)					U16 (Youth)				U14 (Youth)						
SAJ区分	シニア												K2						K1				
国体区分	成年A組							少年組															

- * SAJ 公認大会における競技用品ルールならびに競技ルールは、K2 は U16、K1 は U14 ルールを適用する。ただし SAJ ユース競技会開催要領を優先する。
- * 中 3 早生まれ、中3、高1早生まれの各競技者は、SAJ-B 級大会ならびに、国体少年組に出場できる。その際は、シニアのマテリアルルールが適用される。
- * 高 1 早生まれの競技者は、JOC ジュニアオリンピックカップ K2、全日本ジュニア選手権（スピード系）に出場できる。ただし全国中学には出場できない。

スキー用具に関する国内運用ルール（2018/2019 シーズン）

SAJ 競技本部 ルール・公認施設小委員会 2018年7月1日

※スキーの長さ及びラディウス一覧

種 目	DH				SG				GS				SL	
	女子		男子		女子		男子		女子		男子		女子	男子
カテゴリー／大会	スキー長 (cm) 及びラディウス (m) *表記はどちらも最小値													
	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	ラディウス	スキー長	スキー長
COC	210	50	218	50	205	40	210	45	188	30	193	30	155	165 *1
FIS / NC	205	50	213	50	200	40	205	45	183	30	188	30	155	165 *1
SAJ公認大会 (ユース競技会以外)	205	50	213	50	200	40	205	45	183	30	188	30	155	165 *1
SAJ公認大会 (K2 (U16))	-	-	-	-	175	27	175	27	188以下	17	188以下	17	130	130
					183以上 推奨*2	30以上 推奨*2	183以上 推奨*2	30以上 推奨*2						
SAJ公認大会 (K1 (U14))	-	-	-	-	スキー長・ラディウス共に 体格、体力、技能に適應したスキー				130	14	130	14	130	130
					188以下 推奨*2	17以上 推奨*2	188以下 推奨*2	17以上 推奨*2						

*1: U18 の1年目はSLにおいて、-10cmの許容差を認める。 *2: SAJカテゴリーのみ。国際大会ではFISに準ずる。 *3: スキー長はスキー板に記載されている数値で判断する。

※スキー用具適用一覧（抜粋）

種 目	DH		SG		GS		SL		
	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	
1.2.1.2.1 ビンディング下部分の もっとも細い部分の幅	シニア	65mm以下	65mm以下	65mm以下	65mm以下	65mm以下	65mm以下	65mm以下	63mm以上
	ユース	-	-	65mm以下	65mm以下	65mm以下	65mm以下	65mm以下	-
1.2.1.2.2 ビンディングより前方部分の 最大スキー幅	シニア	95mm以下	95mm以下	95mm以下	95mm以下	103mm以下	103mm以下	-	-
	ユース	-	-	-	-	-	-	-	-

スキー高	スキー板+プレート+ビンディング	50mm以下 全種目、全カテゴリー、男女共通
ブーツ高	すべてのハードおよびソフトパーツを含む ヒールの底部からスキーブーツソールまでの間隔	43mm以下 全種目、全カテゴリー、男女共通
ヘルメット	<p>全てのFIS及びSAJ公認大会では、新規格対応表示 (FISステッカー[RH2013]) が明示されているヘルメットの着用を義務とする。 新規格ヘルメットルールはDH、SG、GS競技に適用される。 公式用品ルール6.2.4によりヘルメットにはメーカー公式付属品以外の装着は禁止とする。 SLでは、ヘルメットの耳部分のソフトパッドの使用を認めるが、EN1077またはASTM2040認証が必須である。(SAJレースにおいては推奨) ナショナルエンブレムの貼付はナショナルチーム及び日本代表チームとして海外で競技に参加する場合は必須とする。</p>	
ワンピース	<p>FISレースのDH、SG、GSで使用される競技スーツはFIS規定の空気透過率基準をクリアしたスーツのみ使用できる。 新規格適合スーツにはプリントの適合ラベル[CS2015]が標記されるが、プロンピング(FIS冠)によるスーツも2018/2019シーズン終了時まで使用することができる。(新スーツへの完全移行が1年先送りとなった。) 新規格スーツが適用されるのは、オリンピック・世界選手権・ワールドカップ・ジュニア世界選手権・コンチネンタルカップであり、FISレベル及びユース大会は適用より除外される。 ※DH用スーツは、プロテクター(パット)を競技スーツと一体化することはできない。</p>	

2018/19 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

FIS 関連規定に関しては、SPECIFICATIONS FOR ALPINE COMPETITION EQUIPMENT を参照にしている。スキー用具に関する規定は、ここに記載があるため、疑義が生じた場合は必ず目を通すこと。なお訳文と原文とに相違がある場合は、原文を優先する。なお本年度は条項及び内容の変更が行われている。

特に記載のないものは FIS 規定に準拠するものとする。SAJ 特別規定については別途記載する。この共通事項と各年代別のものを両方参照すること。

用具について (抜粋)

1. スキー板について

各年代別のページを参照すること。なお購入の際には販売店と相談をし、年代別 FIS 規定に適合したものを購入すること。

2. ビンディングについて

プレート類を取り付ける際、スキー滑走面からブーツソールまでの高さは最大 50mm とする。

3. スキー靴について

ブーツソールから踵の下まで、すべての部品を含めた厚みは最大 43mm とする。

U14 と U16 においてはスキーの高さとブーツの厚みを同じにすることを推奨する。

4. レーシングスーツについて

FIS レースの DH、SG、GS で使用される競技スーツは FIS 規定の空気透過率基準をクリアしたスーツのみが使用できる。それに適合したレーシングスーツにはプリントの適合ラベル[CS2015]が標記されるが、プロンプ(FIS 冠)も 2017/2018 シーズン終了時まで移行期間として運用される。

DH 用スーツは、プロテクター (パット) を競技スーツと一体にすることはできない。

※SAJ 特別規定

K1 および K2 公認大会においては、FIS 規定レーシングスーツの着用を免除する。

5. ヘルメットについて

全ての FIS 公認大会では、新規格対応表示 (FIS ステッカー[RH2013]) が明示されているヘルメットの着用を義務とし、DH、SG、GS 競技に適用される。メーカー公式付属品以外の装着は禁止とする。

SL では、ヘルメットの耳部分のソフトパッドの使用を認めるが、EN1077 または ASTM2040 認証が必須である。

※SAJ 特別規定

SL の FIS 規定については推奨とする。

ナショナルエンブレムの貼付はナショナルチーム及び日本代表チームとして海外で競技に参加する場合は必須とする。ただしナショナルエンブレムを貼付せず、ヘッドスポンサーステッカーを貼付する場合は、前面におおよそ高さ 5cm のスペースを空けること。

6. バックプロテクターについて

U16 以下はバックプロテクターの使用を推奨する。

2018/19 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2007	定義なし
2006	U14

SAJ

学年	レース区分
5年生	K1
6年生	K1

カテゴリーについて：

SAJ K1 は 2018/2019 シーズンをもって公認大会は終了する。

ポイント移行や大会に関する内容は別途発表資料を参照のこと。

スキーについて：

1. SAJ 特別規定

K1 においては FIS U14 規定を適用する。ただし GS に関しては推奨とする。

GS スキーの最小値は男女とも長さ 130cm、ラディウス 14m とする。

2. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (SG / GS)

3. 個別事項

FIS	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
U14 規定					
女子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

*SAJ 公認大会においては体格、体力、技能に適応したスキーを使用すること。

2018/19 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2006	U14
2005	U14
2004	U16
2003	U16

SAJ

学年	レース区分	国体
1年生	K2	参加不可
2年生	K2	参加不可
3年生	K2	少年組

スキーについて：

1. SAJ 特別規定

K2 においては FIS U16 規定を適用する。

ただし SG に関しては推奨とする。SG スキーの最小値は男女とも長さ 175cm、ラディウス 27m とする。

2. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (SG / GS)

3. 個別事項

FIS	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
U14 規定					
女子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	規定なし*	規定なし*	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

*SAJ 公認大会においては体格、体力、技能に適應したスキーを使用すること。

FIS	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
U16 規定					
女子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

2018/19 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2003	U16
2002	FIS (U18)
2001	FIS (U18)
2000	FIS (U21)

SAJ

学年	レース区分	国体
1年生	K2* / SAJ	少年組
2年生	SAJ	少年組
3年生	SAJ	少年組

*早生まれに限るが、出場可能大会は限定される。詳細は大会要綱を確認すること。

スキーについて：

1. SAJ 特別規定

K2 においては FIS U16 ルールを適用する。

2. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (DH / SG / GS)

63mm 以上 (SL)

3. 個別事項

FIS	SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length
U16 規定					
女子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上
男子	183cm 以上	30m 以上	188cm 以下	17m 以上	130cm 以上

FIS 規定	DH		SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length	Radius	Length
女子	210cm 以上*	50m 以上	205cm 以上*	40m 以上	188cm 以上*	30m 以上	155cm 以上
男子	218cm 以上*	50m 以上	210cm 以上*	45m 以上	193cm 以上*	30m 以上	165cm 以上**

*FIS / YOG / NC においては-5cm の許容あり

**U18 初年度は-10cm の許容あり

2018/19 シーズン スキー用具に係る国内運用規定について

年齢区分：FIS においては学年に関係なく、生年でカテゴリーが決定する。

FIS

Years of Birth	Category
2000	FIS (U21)
1999	FIS (U21)
1998	FIS (U21)
1997	FIS
1996	FIS

SAJ

学年	レース区分	国体
全学年	SAJ	成年 A 組

スキーについて：

1. 共通事項

ビンディング下の幅 65mm 以下 (DH / SG / GS)
63mm 以上 (SL)

2. 個別事項

FIS 規定	DH		SG		GS		SL
	Length	Radius	Length	Radius	Length	Radius	Length
女子	210cm 以上*	50m 以上	205cm 以上*	40m 以上	188cm 以上*	30m 以上	155cm 以上
男子	218cm 以上*	50m 以上	210cm 以上*	45m 以上	193cm 以上*	30m 以上	165cm 以上

**FIS / YOG / NC においては-5cm の許容あり

2018/2019シーズン SAJ公認競技会一覧

2018

12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
FEC		FEC (Wanlong CHN)									FEC (Songhua Lake CHN)																						
FIS																	阿寒						ぬかびら										
																	FIS SL FIS SL NJR SL						NJR GS NJR GS										

2019

1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
FEC																																	
FIS												FIS石川白峰(男のみ)								FIS北海道選手権(朝里)						FIS北海道選手権(カムイリンクス)							
												SL SL								SL SL						GS GS							
																				大山													
																				B GS YH GS FIS SL/Y SL FIS GS/YH GS													
																				ENL田沢湖													
																				GS GS													
SAJ																				B新潟県選手権(八海山)													
																				SL													
																				B石川													
																				GS GS													
																				B/YH宮城県選手権(オニコウベ)													
																				SL SL													
																				B/YH青森県選手権(大鰐)													
																				SL GS													
																				B山形県選手権(蔵王ライザ)													
																				SL													
																				B/YH奥神鍋													
																				SL													
																				B/YHサーティーワンCUP(奥神鍋)													
																				GS													
ユース																				YH SNOW COUNTRY CUP(松之山)													
																				SG SL													
																				YH鹿沢ユース													
																				SL													
						</																											

国内主要大会 競技期間中の公認大会開催の制限について

332 全日本スキー選手権大会開催規定

第5条-2

全日本スキー選手権大会開催中は、本連盟理事会の特別の許可なしに、どの加盟団体においても同一種目のB級大会以上の競技会を開催してはならない。また会期前の4日間は競技会開催地及びその付近で行う同一種目の競技会を開催する場合は、理事会の許可を必要とする。

以下、アルペン委員会の申し合わせ事項とする

主要大会

大会名	開催制限
国民体育大会 (SAJ-A)	競技開催期間、15歳以上を対象とした公認大会の申請はできない。
全日本学生スキー選手権 (SAJ-A)	競技開催期間、大学生を主対象とした公認大会の申請はできない。
全国高校スキー大会 (SAJ-A)	競技開催期間、高校生を主対象とした公認大会の申請はできない。
全国中学スキー大会 (SAJ-A ユース)	競技開催期間、K2選手を対象とした公認大会の申請はできない。
全日本 Jr, スキー選手権 【技術系】【スピード系】 (NJC)	競技開催期間、16歳～21歳までのジュニア選手を対象とした公認大会の申請はできない。
全日本 Jr, スキー選手権 【技術系】【スピード系】 (SAJ-A ユース)	競技開催期間、K2選手を対象とした公認大会の申請はできない。
JOC ジュニアオリンピック (SAJ-A ユース)	競技開催期間、ユース選手を対象とした公認大会の申請はできない。

2019-2020 シーズン

大会名	開催制限
ワールドカップ苗場大会	競技開催期間、すべての公認大会の申請はできない。

2018-2019 国内公認大会出場資格【基本枠】

● 2018-2019シーズン 以下に掲げる国内公認大会は、各大会エントリー締切日までに発表されたポイントリストによって出場資格を得ることができる。

エントリーオーバーした際の優先順位を確実に確認してください。

今年度よりFISレース（level3）以下のレースに関して女子の参加基準は撤廃する。エントリーオーバーした際の優先順位を確認してください。

参加資格種別			カテゴリー	FEC		NC		FEC		FIS / NJC※2 / NJR※3			
			対象	FEC技術系 (日本開催)		全日本選手権 (技術系)		全日本選手権 (FEC SG・AC)		国内FISレース/ 全日本ジュニア選手権※2/NJR (技術系)		国内FISレース/ 全日本ジュニア選手権※2 (SG・AC)	
参加資格種別				男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
ポイント	1	FISポイント (SL・GS)	共通	45点	60点	55点	70点	55点	75点	60点	FIS登録者	60点	FIS登録者
	2	FISポイント (AC・SG)	共通					AC 400点 SG 150点	SG 250点			AC 400点 SG 180点	
	3	SAJポイント (SL・GS)	共通			55点	70点	55点	75点	60点		60点	
			高校							70点		70点	
	4	SAJポイント (AC・SG)	共通					AC 400点 SG 150点	SG 200点			AC 400点 SG 150点	
高校							SG 170点	SG 250点		AC 400点 SG 180点			
5	SAJポイント (SL・GSL)	2002年生まれのみ								100点		100点	
上記資格では、各大会のエントリー締切日までに発表されたポイント・ポイントランキングで出場資格を得る													
選考 コース	6	コースランキング (2002年生まれ)	2017-2018シーズン 全国ランキング (プロテクト) ※7月外は12月のみ							20位 (5名)	―― (5名)	20位 (5名)	―― (5名)
競技会 順位	7	特別枠	全日本選手権			10位 ※1	10位 ※1	10位 ※1	10位 ※1				
			全日本学生選手権 (1部総合)			10位 ※1	10位 ※1	10位	10位				
			全日本学生チャンピオン大会 (SG・AC)					10位	10位				
			全国高校大会			10位 ※1	10位 ※1	10位	10位				
			全国高校選抜大会			10位 ※1	10位 ※1	10位	10位				
			全国中学校大会			5位 ※1	5位 ※1	5位 ※1	5位 ※1				
全国ジュニアオリンピック			5位 ※1	5位 ※1	5位 ※1	5位 ※1							
その他	8	推薦枠	SAJ競技本部推薦 (プロテクト)	10名 (5名)	10名 (5名)	10名 (5名)	10名 (5名)	10名 (5名)	10名 (5名)				
			開催県枠 (プロテクト)	5名 (3名)	5名 (3名)	5名 (3名)	5名 (3名)	5名 (3名)	5名 (3名)	(30名)	(30名)	(30名)	(30名)
			都道府県推薦			有資格者を有さない加盟団体には 男女各種目1名の出場枠を与える (プロテクト)				有資格者と開催県枠で 140名を満たしていない場合のみ 出場できる			
			学連推薦							有資格者・開催県枠 (7月外)・ 都道府県推薦で140名を満たして いない場合のみ出場できる			

※1 前年度順位

※2 U21の選手以外は、海外選手も含め25名まで出場できる

※3 U21の選手以外は出場できない。海外選手は25名まで出場できる。

◆ エントリーオーバーした場合の優先順位

①-1 ユースランキング（プロテクト5名）・・・ただし12月開催のレースのみ

①-2 開催県推薦選手（プロテクト30名）※開催ブロック内の選手に限る。（開催ブロック出身学連登録選手も含む）

② 男子：有資格者（当該種目FISポイント順、FISポイントを有していない場合はSAJポイント順）

女子：当該種目FISポイント順、FISポイントを有していない場合はSAJポイント順

③ 開催県推薦選手 ※①のプロテクト30名以外のブロック内登録選手。（開催ブロック出身学連登録選手も含む）

④ 都道府県推薦選手 ※当該種目FISポイント順。FISポイントを有していない場合はSAJポイント順

⑤ 学連推薦選手

◆ AC種目においてエントリーオーバーした場合の優先順位

基本的にも上記優先順位で決定するが、

① 開催県推薦選手（プロテクト30名）

② 有資格者≪ACポイント所有者≫

で最大人数を満たさない場合は、最初に実施する種目のポイントを次に優先する。

◆ SG種目においてエントリーオーバーした場合の優先順位

基本的にも上記優先順位で決定するが、

① 開催県推薦選手（プロテクト30名）

② 有資格者≪SGポイント所有者≫

で最大人数を満たさない場合は、GS種目のポイントを次に優先する。

◆ エントリーリーグ

① 参加資格はFIS登録済の者とする。

② 開催県推薦は、30名をプロテクトする。

（開催県選手を優先とし、開催ブロックの選手、開催ブロック出身学連登録選手を含む）

③ 140名のエントリーを超えた場合は、FISポイント下位の者（FISポイントない場合はSAJポイント下位の者から）から参加資格を失う。

◆ エントリーについて（FIS公認大会・B級公認大会）

① 各大会のエントリー締切日は、第1回チームキャプテンミーティングの10日前とする。

開催地組織委員会は、要項に明記すること。

② 学連所属選手は各大学からのエントリーを認める。

③ 都道府県推薦枠には学連登録選手を含まない。

④ 学連ブロック推薦の受け入れの有無は開催地組織委員会が決定し要項に記載する。

⑤ ③及び④について、推薦状の提出は不要です。

⑥ エントリーは有資格者と合わせて、各都道府県、大学毎に申し込みをする。

個人・高校・中学・クラブからの申し込みは受け付けない。

⑦ 都道府県推薦、学連推薦はエントリーフォーム氏名欄に「氏名（推薦）」と明記すること。

⑧ エントリー締め切り後、エントリーが上限まで満たさない場合は追加エントリーを認める。

（必ず各都道府県連に通知、または開催県ホームページに掲載する）

◆ 大会スケジュールの変更とキャンセルについて

① 大会スケジュールの変更および中止の連絡は、最初のチームキャプテンミーティングの4日前までに全日本スキー連盟事務局に報告しなければならない。

② 加盟団体・選手・チームキャプテンへの連絡は、大会組織委員会が責任を持って行う。

③ 開催の是非については、TDも判断に加わる。

2018-2019 SAJアルペン主要大会 派遣役員

月	大会名	開催地	公認	TD	レフリー	ポイント委員	セッター長	マテリアル
12月	全日本選手権(技術系)	北海道・阿寒	FIS/NC・SAJ/A	【FIS】 BYUN JONG-Woo(KOR)		宮田克宣(北海道) 箭原敏弘(北海道)	大瀧詞久(長野)	新 敏彦(北海道)
1月	全日本選手権(スピード系) / 学生チャンピオン	秋田・田沢湖	FIS/NC・SAJ/A	【FIS】 YANG Sung Chul(KOR)		吉田光彦(岩手)	相原博之(北海道)	遠藤茂哉(岩手)
	インカレ(スピード系)	秋田・田沢湖	SAJ/A	M 高橋 稔(愛知) L 神崎信彦(学連)	金子未里(秋田)	吉田光彦(岩手)	M 相原博之(北海道) L 杉山裕彦(学連)	
2月	全国中学	新潟・苗場	SAJ/A(ユース)	森 晃(長野)	岡崎若華(山形県)	戸谷龍一(長野)	大瀧詞久(長野)	
	学生チャンピオン	長野・パインパーク	FIS UNI・SAJ/A	【FIS】 中村実彦(長野)	M 高橋 稔(愛知) L 神崎信彦(学連)	宮崎 命(長野)	相原博之(北海道)	
	インターハイ	秋田・花輪	SAJ/A	平田怜吾(岐阜)	滝下靖之(北海道)	大場善平(宮城)	金子未里(秋田)	松岡尚幸(北海道)
	国民体育大会	北海道・札幌	SAJ/A	前原 力(新潟)	関 潤(富山)	大野正智(北海道) 丹羽 恒(北海道)	相原博之(北海道)	長沢 順(北海道)
	インカレ	長野・野沢温泉	SAJ/A	M 高橋 稔(愛知) L 神崎 信彦(学連)	M 岡澤研太(学連) L 西 裕之(愛知)	宮崎克己(長野)	M 相原博之(北海道) L 杉山裕彦(学連)	
	ユース・全日本ジュニア(スピード系)	岩手・雫石	SAJ/A(ユース)	富井剛志(長野)		志村清司(栃木)	金子未里(秋田)	
	全日本ジュニア(スピード系)	岩手・雫石	FIS/NJC・SAJ/A	【FIS】 松本和也(群馬)		志村清司(栃木)	伊藤雄一(岩手)	
	FAR EAST CUP	秋田・花輪	FIS/FEC・SAJ/A	【FIS】 Sanderson Scott (AUS)		斎藤智明(山形)	本田浩樹(福岡)	加藤清孝(秋田)
3月	FAR EAST CUP	北海道・遠軽	FIS/FEC・SAJ/A	【FIS】 Sanderson Scott (AUS)		工藤幸弘(北海道) 佐藤朋丈(北海道)	坂井 優(北海道)	松岡尚幸(北海道)
	全国高校選抜	長野・志賀高原	SAJ/A	笹原宗悦(宮城)		宮津一也(長野)	関 喜行(長野)	
	全日本ジュニア(GSL)	北海道・ぬかびら	FIS/NJC・SAJ/A	【FIS】 加藤清孝(秋田)		亀岡直哉(北海道)	川口城二(北海道)	
	全日本ジュニア(SL)	北海道・阿寒	FIS/NJC・SAJ/A	【FIS】 加藤清孝(秋田)		宮田克宣(北海道)	川口城二(北海道)	
	ユース・ジュニアオリンピック	長野・志賀高原	SAJ/A(ユース)	玉川映一(北海道)		宮津一也(長野)	金子未里(秋田)	

※マテリアル測定担当者 については、2018-2019よりSAJアルペン部で指名する。

2018-2019シーズン マテリアルコントロール機材 輸送計画(アルペン)案

大会名	会場	検査実施アイテム	機材使用期日予定 (機材移動情報含む)		SAJ事務局 発送月日 (事務局記載)	機材取扱い責任者 / 測定担当者	備考(機材送付先等)
第31回GWカップ 阿寒SL大会 12/16-17	北海道 釧路市	ブーツ&プレート	12月10日 機材:SAJ事務局より			野村 隆 /松岡 尚幸	〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉2丁目6番20号 NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構内 ゴールドウインカップ阿寒スラローム大会事務局 TEL 0154-67-3200 FAX 0154-67-3024 終了後、そのまま全日本(技術系)で使用
全日本 (技術系) 12/25-28	北海道 釧路市	ブーツ&プレート		機材:下記大会へ		野村 隆 /新 敏彦	〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉2丁目6番20号 阿寒湖まりむ館内 阿寒湖温泉冬季スポーツ大会実行委員会事務局 TEL 0154-67-3200 FAX 0154-67-3024 終了後、全日本(スピード系)へ送付
全日本 (スピード系) 1/28-29	秋田県	ブーツ&プレート ウェア FIS冠:20仮払い	1月28日 ブーツ&プレート機材 :上記大会より ウェア機材 :SAJ事務局より	ブーツ&プレート機材 :下記大会へ ウェア機材 :FEC花輪会場へ		岡沢研太(学連) /加藤清孝	〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字下高野73-75 秋田県立田沢湖スポーツセンター 全日本スキー選手権(スピード系)大会事務局 TEL 0187-46-2001 FAX 0187-46-2003 終了後、ブーツ&プレート機材はインターハイへ送付 ウェア機材は花輪会場に送付
インターハイ 2/8-12	秋田県 鹿角市	ブーツ&プレート	2月6日 機材:上記大会より	機材:下記大会へ		佐藤 久和 /松岡 尚幸	〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1 鹿角市教育委員会スポーツ振興課内 第68回全国高等学校スキー大会秋田県実行委員会事務局 TEL 0186-30-0286 FAX 0186-22-0888 終了後、国体へ送付
国体 2/14-17	北海道 札幌市	ブーツ&プレート	2月13日 機材:上記大会より	機材:下記大会へ		大原 敏史 /長沢 順	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西3丁目 北海道建設会館3階 公益財団法人札幌スキー連盟 TEL 011-221-1661 FAX 011-232-5975 終了後、FEC秋田鹿角へ送付
FEC花輪 2/24-27	秋田県 鹿角市	ブーツ&プレート ウェア FIS冠:20仮払い	2月23日 ブーツ&プレート機材 :上記大会より ウェア機材 :全日本(スピード系)より	機材:下記大会へ		佐藤 範朋 /加藤 清孝	〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字百合沢81-1 アルパス内 2019FISファーイーстокップ花輪大会事務局 TEL 0186-23-8000 FAX 0186-23-8585 終了後、FEC遠軽へ送付
FEC遠軽 3/1-4	北海道 遠軽町	ブーツ&プレート ウェア FIS冠:20仮払い	2月28日 ブーツ&プレート機材 ウェア機材 :上記大会より			水野 徹 /松岡 尚幸	〒099-0403 北海道紋別郡遠軽町一条通北2丁目3番地45 遠軽町教育委員会内 FEC遠軽大会組織委員会 TEL 0158-42-2191 FAX 0158-49-2566 終了後、SAJ事務局へ送付

*輸送の際には200万円の保険に加入してください。

*説明書及び会場ごとの報告書が同梱されています。会場ごとに報告書をまとめ、次の会場へ引き継ぎをお願いします。

2018-2019 SAJポイント(アルペン) ペナルティ表

SAJカテゴリー	レース レベル	加算値	ミニマム ペナルティ	マキシマム ペナルティ	種目	F 値	マックスポイント	
							レベル1~5	レベル6(K1)
FEC	1	0	6	999				
全日本選手権	2	2	8	999	DH	1250	310	-
FIS・NJC・NJR ・UNI・SAJ-A(YH除く)	3	3	9	999	SL K1コンピ	730	145	280
ENL・SAJ-B(YH除く)	4	13	40	999	GS	1010	200	310
SAJ-A(K2)・B(K2)	5	0	50	999	SG	1190	250	330
SAJ-A(K1)・B(K1)	6	0	70	999	AC	1360	250	-

※参考(2018-2019 FIS No.3)

Alpine Skiing



2018/2019

3rd FIS points list 2018/2019

Valid from 06-09-2018 to 26-09-2018

Category/Catégorie/Kategorie	Race level	Minimum penalty for 2018/2019	Minimum penalty for calculation BL 2020	Maximum penalty
OWG,WC,WSC	0	0.00	0.00	0.00
COM	0	0.00	0.00	4.00
ANC,EC,ECOM,FEC,NAC,SAC,UVS,WJC	1	6.00	15.00	999.00
NC	2	8.00	20.00	999.00
AWG,CISM,CIT,CITWC,CORP,EQUA,EYOF,FIS,FQUA,JUN,NJC,NJR,UNI,YOG	3	9.00	23.00	999.00
ENL	4	40.00	60.00	999.00

MEN						GENERAL			LADIES						
ADDER					Z-Value	Men/Ladies		ADDER					Z-Value		
Disc.	Level 0	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4		F Value	Max points	Disc.	Level 0	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	
DH	0	0	2	3	13	0.00	1250.00	310.00	DH	0	0	2	3	13	0.00
SL	0	0	2	3	13	0.00	730.00	145.00	SL	0	0	2	3	13	0.00
GS	0	0	2	3	13	0.00	1010.00	200.00	GS	0	0	2	3	13	0.00
SG	0	0	2	3	13	0.00	1190.00	250.00	SG	0	0	2	3	13	0.00
AC	0	0	2	3	13	0.00	1360.00	250.00	AC	0	0	2	3	13	0.00

2018/2019 ポイントリスト発行カレンダー(アルペン)

SAJ No.	FIS No	SAJ締切日	FIS締切日	発行予定日	有効期限	
					開始	終了
2	6	—	10月28日(日)	11月02日(金)	—	—
3	7	11月09日(金)	11月11日(日)	11月14日(水)	—	—
4	8	11月23日(金)	11月25日(日)	11月28日(水)	—	—
5	9	12月07日(金)	12月09日(日)	12月11日(火)	12月13日(木)	12月26日(水)
6	10	12月21日(金)	12月23日(日)	12月25日(火)	12月27日(木)	01月09日(水)
7	11	01月04日(金)	01月06日(日)	01月08日(火)	01月10日(木)	01月23日(水)
8	12	01月18日(金)	01月20日(日)	01月22日(火)	01月24日(木)	02月06日(水)
9	13	02月01日(金)	02月03日(日)	02月05日(火)	02月07日(木)	02月20日(水)
10	14	02月15日(金)	02月17日(日)	02月19日(火)	02月21日(木)	03月06日(水)
11	15	03月01日(金)	03月03日(日)	03月05日(火)	03月07日(木)	03月20日(水)
12	16	03月15日(金)	03月17日(日)	03月19日(火)	03月21日(木)	04月03日(水)
13	17	03月29日(金)	03月31日(日)	04月02日(火)	04月04日(木)	04月17日(水)
14	18	04月12日(金)	04月14日(日)	04月16日(火)	04月18日(木)	05月01日(水)
15	19	最終大会	04月30日(火)	05月10日(木)		

※発行予定日は、諸事情により変更になる場合がございます。

アルペンリザルト作成上の留意事項について

2018年9月16日

(公財) 全日本スキー連盟

アルペン計時計算WG

コース名称

コース公認証に記載されたコース名称と一致すること。

競技日付

FISレースの場合は dd-mm-yyyy 形式で記載する。

ジュリーメンバー

ジュリーメンバーは、技術代表・競技委員長・主審・滑降及びスーパージの副審である。

リザルトには上記3名または4名のみ記載される。

氏名の表記方法

英語表記の場合は、苗字 名前の順に記載。長い氏名の場合で所定の文字数に入らない場合は苗字+名前1文字の記載でもよい。苗字と名前のセパレータは半角スペースを使用する。

例) NAKAMURA M

ジュリーメンバーの所属

FISレースの場合は国名(JPN・KOR等)、SAJレースの場合は所属県連(長野・学連等)を記載する。FISレースのSAJ登録選手のみリザルトには国名のままで良い。

全長

高速系種目のみ実測全長を記載する。セットが変わった場合は再度実測する。技術系種目の場合全長は記載しない。斜度はいずれの種目であっても公式リザルトには記載しない。

旗門数・有効ターン数

GS・SL・SG種目は有効ターン数をかっこ書きで記載する。ディレードゲートがある場合は、旗門数>有効ターン数となる。

コーデックス

FISレースにおけるSAJ登録選手のみリザルト・ペナルティ計算書にはSAJのコーデックスNoを記載する。

DS・DF等の確認

エントリー数と、完走者・棄権者・失格者の合計が合致すること。入力もれのないよう注意。

タイマーから出力されたテープとの読み合わせ

タイマーからのデータの取りこぼしの恐れがあるので必ずチェック。FIS タイミングレポート v7.1 にはリザルトとテープが合致しているかどうかを記入する箇所があるので確認の後「confirmed」と記載する。

計算固定値

S A J データバンクの Web にある有効ポイントリストの 1 s t P a g e を確認。データファイルをコピーして使用する場合に各計算固定値 (F 値・マックスポイント・ミニマムペナルティ・マキシマムペナルティ・Z 修正値・カテゴリーアダー等) の修正もれに注意。

ペナルティ計算書の再確認

ソフトウェアによっては、小数点以下の演算誤差が発生している場合がありうる。電卓で再度確認のこと。

F I S への電子データ転送

電子メールで F I S フォーマットによる XML 形式のリザルトを送信すると自動的に F I S のデータベースが更新される。T D は XML リザルトが送信されているならオンラインでこれを有効にすることができる。

2012-2013 シーズンから F I S タイミングレポートについても電子化された。タイミングレポート作成ツールは F I S の F T P サイトからダウンロードできる。FIS に対しての印刷リザルトまたは PDF の送信は不要となった。

S A J 公認ユースレースにおけるペナルティ計算特例

K 1 及び K 2 カテゴリーのレースにおいて S A J ポイント所有者が 3 人に満たない場合であっても、ポイントなしの選手に順位の高い順にマックスポイントを適用してポイント成立を認める。ただし完走者は最低 5 人以上であること。

リザルトシステムが対応していない場合は手計算によるペナルティ計算書を添付すること。

S A J ポイントリストのフォーマット変更

13-14 シーズンから S A J ポイントリストにスーパーコンバインド種目の項目が追加された。

加算値の導入

17-18 シーズンより S A J ペナルティ計算においてカテゴリ毎の加算値 (カテゴリーアダー) を設定。

K 1 マックスポイントの設定

18-19 シーズンより K 1 ペナルティ計算においてマックスポイントを独自設定。ペナルティ表を参照のこと。

18-19 SAJポイント計算方法			
	シーズン中の計算	シーズン終了時の計算	ポイント保留申請の場合
年度Pのみの場合	年度P	年度Pにダブルペナルティを加算	年度Pにシングルペナルティを加算
年度P+取得P1つの場合	$((\text{年度P} + \text{取得P}) \div 2) < \text{年度P}$ は、計算値	取得Pにダブルペナルティを加算	年度P又は取得Pの良い方のポイントにシングルペナルティを加算
	$((\text{年度P} + \text{取得P}) \div 2) > \text{年度P}$ は、年度P		
年度P+取得P2つの場合	$(\text{年度Pを含むベスト2の合計} \div 2) < \text{年度P}$ は、計算値	取得Pのベスト2の合計 $\div 2$	年度ポイントにシングルペナルティを加算した値、又は取得Pの合計 $\div 2$ のいずれか良い方
	$(\text{年度Pを含むベスト2の合計} \div 2) > \text{年度P}$ は、年度P		
年度P+取得P3つ以上の場合	$(\text{年度Pを含むベスト2の合計} \div 2) < \text{年度P}$ は、計算値	取得Pのベスト2の合計 $\div 2$	取得Pのベスト2の合計 $\div 2$
	$(\text{年度Pを含むベスト2の合計} \div 2) > \text{年度P}$ は、年度P		
取得P1つの場合	取得Pのダブルペナルティ	取得Pにダブルペナルティを加算	取得ポイントにシングルペナルティを加算
取得P2つの場合	取得Pの合計 $\div 2$	取得Pの合計 $\div 2$	取得Pの合計 $\div 2$
取得P3つ以上の場合	取得Pのベスト2の合計 $\div 2$	取得Pのベスト2の合計 $\div 2$	取得Pのベスト2の合計 $\div 2$
年度P無し、取得P無し	ポイント無し	ポイント無し	ポイント無し
計算値がマイナスとなった場合	当該の選手のポイントは 0.00	当該の選手のポイントは 0.00	

※シングルペナルティはSAJポイントの22%。最小値は4ポイント。最大値は滑降26ポイント、回転14ポイント、大回転及びスーパー大回転20ポイント。

※最終ポイントリストの計算にあたっては、競合する上位選手のFISポイントを考慮した補正值を全員に適用する。

SAJ事務局・SAJデータバンク・運営委員会への送付リザルトについて

2018年9月16日
(公財)全日本スキー連盟
アルペン計時計算WG

1. 必要な書類

リザルト

- 1 公式成績表（ペナルティ計算書を含む）
- 2 タイミングアンドデータテクニカルレポート（FISレース及びSAJA級は必須）
- 3 議事録及びアテンダンスリスト
- 4 ジュリー会議議事録（スケジュールその他重要な変更・中止等の場合）
- 5 ジュリー会議議事録（抗議に対して）

TDレポート

- 1 TDレポート
- 2 傷害報告書
- 3 追加レポート（他の模範となるべき事例や改善点を必要に応じ写真データを添えて記載）

FISレースにおけるSAJへの提出リザルトについては、FISに提出するものに加えて、SAJ競技者登録番号が記載されたSAJ登録選手のみのリザルト、SAJポイントに基づき計算したペナルティ計算書が必要です。

2. リザルトPDFの作成

紙に印刷し製本したリザルトの提出に代えて、15-16シーズンよりすべての公認大会のリザルトはPDF形式の電子データをメールに添付して提出することとします。製本した印刷物の郵送は必要なくなりました。PDFの作成にあたっては、TD署名のあるページだけをスキャナで取り込み、他のページと結合してもよい。全ページをスキャナで取り込む場合はファイルサイズが過大にならないよう注意してください。（白黒2階調 解像度300dpi以下を推奨 1ページあたり50Kb程度を目安とし、文字が確実に判別できればよい）

3. リザルトの送信前に！

単純な入力誤りにより再提出しなければならず、場合によっては次のポイントリストに反映されないことも起こりえます。TDによる確認はもとより、複数の目による最終確認をお願いします。

日付、コーデックス及びF値等の各種パラメタ並びにエントリー数、完走者数及び失格者数の整合性などはテクニカルデータ確認書やチェックリストを用いて点検することで間違いを防ぐことができます。

必要項目

1) リザルト (SAJ/FIS)

競技会名

競技年月日

種目

F 値

性別

開催地

TD (技術代表)、TD No.

競技委員長

主審

副審 (スパ - G のみ)

大会コート

コースプロフィール(コースデータ)

コース名

コース公認 No (ホモゲーション No)

実測全長(スパ - G のみ)

スタート標高地点

フィニッシュ標高地点

標高差

コースセッター

前走者

実旗門数・有効ターン数

開始時刻

スタート/フィニッシュ気温

天候/雪質

順位・スタート No・SAJNO・氏名・所属県連・所属団体名・1 本目時間・2 本目時間・合計時間・レースポイント

棄権者数 (DS)

SAJNO・氏名・所属県連・所属団体名

途中棄権者数 (DNF)

SAJNO・氏名・所属県連・所属団体名

失格者数 (DSQ)

SAJNO・氏名・所属県連・所属団体名

2 本目カット (DNQ)

SAJNO・氏名・所属県連・所属団体名

2) ペナルティー計算書 (SAJ/FIS)

ペナルティー計算値 (計算式含む)

ミニムペナルティー

有効ペナルティー

完走者上位 10 名

SAJNO・氏名・所属県連盟・所属団体名・SAJポイント

SAJポイント上位 5 名と 5 名の合計 SAJポイント

SAJポイント上位 5 名のレースポイントと 5 名の合計レースポイント

スタートした選手の SAJポイント上位 5 名

SAJNO・氏名・所属県連盟・所属団体名・SAJポイント

この 5 名の合計 SAJポイント

3) TD 報告書

開催県連盟

計時計算のトラブル

補足事項等

4) 議事録

その他

5) ジュリー会議議事録

決定事項の要約

各種大会データの送付(2018-2019)

◎大会開催要項

送信先	メールアドレス
SAJ事務局・SAJデータバンク	taikai@xcat. co. jp

◎リザルトPDF 及び TDレポートPDF

送信先	メールアドレス
SAJ事務局・SAJデータバンク	taikai@xcat. co. jp
SAJアルペン委員会	tdr@team-unit. com
FIS極東担当コミッショナー	alpineresults@i-hakuba. com

上記のほか開催地区スキー連盟にも報告してください。

◎リザルトXML 及び タイミングレポートXML

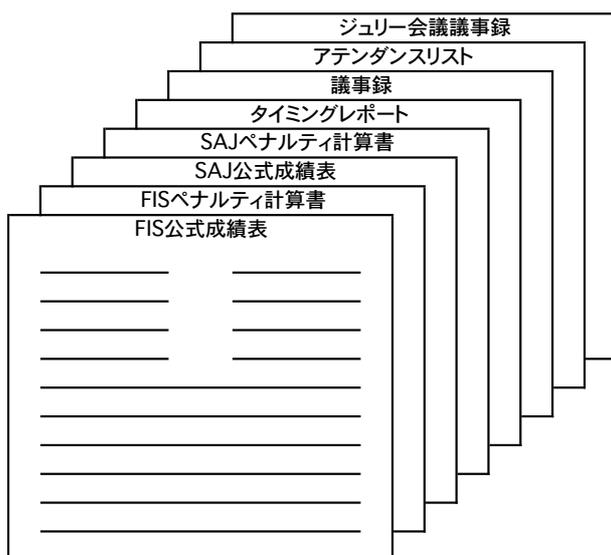
送信先	メールアドレス
FIS事務局	alpineresults@fiski. com

FISに対してPDFの送信は必要ありません

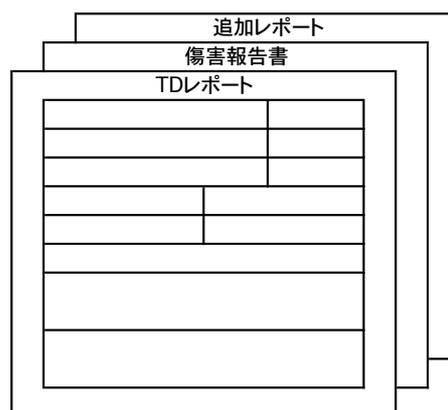
◎ファイル名の命名規約

ファイル種別	ファイル名
リザルトPDF	ALRE2019 + SAJCodex + . PDF
TDレポートPDF	ALTD2019 + SAJCodex + . PDF
タイミングレポートXML	2019AL + FISCodex + TR. XML
リザルトXML	JPN + FISCodex + . XML

リザルトPDF編集の例



TDレポート編集の例



※追加レポートには、模範例や改善点を必要に応じ写真データを添えて記載してください。

DS-DF-DQ チェック表		Name of event 競技会名			CODEX	Date/日付 (DD-MM-YY)
<input type="checkbox"/> 男子 Men	Start time/開始時間	Weather/天気	Temperature/気温	旗門数(ターン数)	エントリー数/所要時間	
	Finish time/終了時間		Start		A	名
<input type="checkbox"/> 女子 Ladies	1		Start	()	A × 30秒	
	Finish time/終了時間		Finish		分	
<input type="checkbox"/>	2		Start	()	A	
	Finish time/終了時間		Finish		分	
DS DID NOT START	(1st run /1本目)					
	(2nd run /2本目)					
DF DID NOT FINISH	(1st run /1本目)					
	(2nd run /2本目)					
DQ DISQUALIFIED	(1st run /1本目)					
	(2nd run /2本目)					
Jury Referee レフリー			Number of Block/ ブロック番号			
Course Setter / 1st Run セッター[1本目]		Forerunner / 1st Run 前走[1本目]				
		A _____ B _____ C _____				
		D _____ E _____ F _____				
Course Setter / 2nd Run セッター[2本目]		Forerunner / 2nd Run 前走[2本目]				
		A _____ B _____ C _____				
		D _____ E _____ F _____				

テクニカルデータ確認書

競技日

大会名称		種目	
技術代表			
競技委員長			
加入保険			

コース公認情報

コース名	FIS SAJ	スタート標高	
コース公認No.	FIS SAJ	フィニッシュ標高	
有効期日	FIS SAJ	標高差	

計時機材	Brand	Model	Serial#	Homolog#
タイマー A				
タイマー B				
スタートゲート				
フォトセル A				
フォトセル B				

計算パラメタ	共通		男子	女子
F value		Adder		
Max Points		Z Value		
Min Penalty(FIS)		Min Penalty(SAJ)		
Max Penalty(FIS)		Max Penalty(SAJ)		
適用ポイントリスト	FISNo.		SAJNo.	

	男子	女子
FISコーデックスNo.		
SAJコーデックスNo.		
主審		
ゲートポール名称		
フラッグ名称		
1本目セッター氏名		
2本目セッター氏名		
実測標高差		
ターン数範囲		
エントリー人数		

HOMOLOGATED TIMING EQUIPMENT

Brand	Device Category	Homolog #	Valid Until	Model	Comment
AGIL	Timers	AGI.078T.09	2024	IMHP 870	With external printer
ALGE	Timers	ALG.005T.10	2025	S4	With external printer
		ALG.002T.10	2025	TdC 8000	
		ALG.003T.10	2025	TdC 8001	
		ALG.001T.10	2025	Timy PXE	
		ALG.004T.10	2025	Timy XE	With external printer
		ALG.080T.10	2025	Timy2 PXE	
		ALG.083T.10	2025	Timy2 XE	With external printer
		ALG.089.14	2029	Timy3 W	With external printer
		ALG.090.14	2029	Timy3 WP	
	Startgates	ALG.S51.03	2023	STScM2S	
		ALG.S81T.10	2025	STSnM2	
		ALG.S53T.10	2025	STSnM2S	
		ALG.S52.03	2023	STSnQ	
	Startdoor	ALG.x102.16	2031	StartdoorSSD1	
	Photocells	ALG.L74T.09	2024	PR1a	
		ALG.L91.14	2029	PR1aW	Only wired is allowed
		ALG.L65.03	2023	RLS1	
		ALG.L44.03	2023	RLS1c	
		ALG.L66.03	2023	RLS1c RX	
		ALG.L45.03	2023	RLS1n	
		ALG.L46.03	2023	RLS1n RX	
BRANDAUER	Startdoor	BRA.x96.15	2030	Startdoor SG2	
DIGITECH	Timers	DIG.087.14	2029	MASTER 3	
EPS-EVENTS	Startdoor	EPS.x103.18	2019	Start door	Only for cross events
LONGINES	Timers	LON.003T.10	2025	TL5005	
	Startgates	LON.S57.03	2023	B65	
		LON.S58.03	2023	CAP021	
MICROGATE	Timers	MGA.002T.11	2025	RACETIME2	
		MGA.001T.15	2030	REI 2	
	Startgates	MGA.S56.03	2023	FIS	
		MGA.S82T.10	2025	Startgate	
	Photocells	MGA.L69.03	2023	FCT3	
OMEGA	Timers	OME.001T.97	2025	OGM5005	
		OME.003T.16	2031	POWERTIME	
	Startgates	OME.S59.03	2023	OSG2	
	Photocells	OME.L67.03	2023	Transtime	
SEIKO	Timers	SEI.002T.11	2025	CT-400	
		SEI.084T.11	2025	CT-500	

HOMOLOGATED TIMING EQUIPMENT

Brand	Device Category	Homolog #	Valid Until	Model	Comment
		SEI.075T.09	2024	MPT-07	
	Startgates	SEI.S55.03	2023	SG800	
		SEI.S93.14	2029	SG900	
	Photocells	SEI.L99.16	2031	PBU-1000	
		SEI.L60.03	2023	PBU-600	
		SEI.L61.03	2023	PBU-601	
		SEI.L62.03	2023	PBU-700	
		SEI.L63.03	2023	PBU-710	
		SEI.L64.03	2023	PBU-800	
		SEI.L65.03	2023	PBU-810	
		SEI.L98.16	2031	PBU-900	
SETTELE	Startdoor	SET.x94.15	2030	Startdoor FIS	
		SET.x95.15	2030	Startdoor WC	
SUMMIT SYSTEMS	Timers	SUM.001.03	2018	SRT1000	With external printer
SWISS TIMING	Timers	SWI.071T.10	2025	Chronos	
		SWI.086.12	2027	Quantum	With external printer
	Startgates	SWI.S79T.09	2024	SNOWGATE	
	Startdoor	SWI.x88.14	2029	Startdoor	
	Photocells	SWI.L85T.11	2025	Arges	
		SWI.L73T.10	2025	Cyclop/CAP 059B	
		SWI.L68T.10	2025	OEC4	formerly Omega/Longines
		SWI.L97.15	2030	Snowgines	
TAG HEUER	Timers	TAG.070T.08	2023	CP 540	
		TAG.092.14	2029	CP 545	
		TAG.076T.09	2024	Minitimer HL440	With external printer
		TAG.005T.10	2025	PTB 605 / PTB 606	With external printer
	Startgates	TAG.S54.03	2023	HL7-1	
		TAG.S77T.09	2024	HL7-1P	
	Photocells	TAG.L47.03	2023	HL 2-31	
		TAG.L49T.10	2025	HL 2-32	
		TAG.L50.03	2023	HL 2-33	
		TAG.L48.03	2023	HL 2-35 R-E	
		TAG.L100.16	2031	HL 3-135	Only wired is allowed
		TAG.L103.17	2032	HL 3-500	Only wired is allowed
WALDSPURGER	Startdoor	WAL.x104.18	2019	Start door	Only for cross events

平成31年度 競技施設公認申請一覧表(アルペン/SLコース)										
No	種目	SAJ公認	SAJ公認番号	FIS公認	FIS公認番号	FIS有効期限	管轄県	コース名称	FISコース名称	備考
1	SL	○	SAJ31-SL-01/79	○			北海道	朝里川温泉回転コース グリーン、レッドコース	Asarigawa/Otaru Red&Green course	
2	SL	○	SAJ31-SL-02/97				北海道	小樽天狗山旧コース		
3	SL	○	SAJ31-SL-03/97	○	10889/03/13	2023/11/1	北海道	富良野スキー場回転コース	Furano Kitanomine	
4	SL	○	SAJ31-SL-04/82			2012/12/12	北海道	札幌国際回転スイングコース		
5	SL	○	SAJ31-SL-05/97				北海道	ニセコグラン・ヒラフスキー場SLコース		
6	SL	○	SAJ31-SL-07/97				北海道	ルスツリゾートダイナミックコース		
7	SL	○	SAJ31-SL-09/97			2012/12/12	北海道	名寄ビヤシリ回転コース		
8	SL	○	SAJ31-SL-10/89				北海道	びっふスキー場アルペンSLコース		
9	SL	○	SAJ31-SL-11/97	○	10016/01/11	2021/11/1	北海道	テイネハイランドニュー男女回転コース	Teine/Sapporo Teine New Slalom Course	
10	SL	○	SAJ31-SL-12/97	○	9045/12/8	2018/11/1	北海道	国設阿寒ライトウィングSLコース	Akan/Hokkaido Right Wing Course	
11	SL	○	SAJ31-SL-13/97				青森県	雨池回転バーン		
12	SL	○	SAJ31-SL-20/82				秋田県	田沢湖回転コース		
13	SL	○	SAJ31-SL-21/95	○	10907/03/13	2023/11/1	秋田県	花輪アルペンSLコース	Hanawa Ski Slope Large Main Alpine Course	
14	SL	○	SAJ31-SL-22/97				山形県	蔵王ハーネンカム回転コース		
15	SL	○	SAJ31-SL-24/85				群馬県	岩鞍SLコース		
16	SL	○	SAJ31-SL-25/97				長野県	岩岳かもしかSLコース		
17	SL	○	SAJ31-SL-27/97	○	10820/12/12	2011/11/1	長野県	志賀山回転コース	Giant Course	
18	SL	○	SAJ31-SL-32/97				長野県	桐池チャンピオンコース		
19	SL	○	SAJ31-SL-33/97	○	10818/12/12	2022/11/1	長野県	西館山回転コース	Nishidate Course Slalom	
20	SL	○	SAJ31-SL-34/86	○	10518/03/12	2022/11/1	長野県	野沢温泉カンダハークコース	Nozawa Onsen Kandahar	
21	SL	○	SAJ31-SL-36/92				長野県	戸狩ビルミツツルブリッケンコース		
22	SL	○	SAJ31-SL-38/88	○	9118/1/9	2019/11/1	長野県	菅平スキー場大松山グランプリコース	Sugadaira Champion Grand Prix Course	
23	SL	○	SAJ31-SL-39/97	○	7858/10/5	2015/10/10	長野県	志賀高原焼額山回転コース	Shigakogen Mt. Yakebitai	
24	SL	○	SAJ31-SL-40/88				長野県	菅平スキー場天狗山回転コース		
25	SL	○	SAJ31-SL-43/97				新潟県	赤倉観光リゾートスキー場 チャンピオンBコース(SL)1		
26	SL	○	SAJ31-SL-44/97	○	10459/01/12	2022/11/1	新潟県	奥只見丸山かもしかAコース	Okutadami/Kamoshika A	
27	SL	○	SAJ31-SL-50/82	○	10455/01/12	2022/11/1	鳥取県	大山国際チャンピオンコース	Daisen/Tottori/Kokusai Champion	
28	SL	○	SAJ31-SL-52/82				鳥取県	大山国際リーゼンコース		
29	SL	○	SAJ31-SL-56/86	○	11266/02/14	2024/11/1	岩手県	安比高原カッコーコース	Shizukuisi sunshine Course (SL)	
30	SL	○	SAJ31-SL-58/93	○	9531/3/10	2020/11/1	秋田県	八幡平スキー場トド松コース	AKITA-Hachimantai Todomatsu Course	
31	SL	○	SAJ31-SL-61/97				北海道	北見若松市民スキー場Bコース		
32	SL	○	SAJ31-SL-63/97				長野県	一の瀬回転コース		
33	SL	○	SAJ31-SL-65/93	○	10451/01/12	2022/11/1	群馬県	戸倉スキー場SLダイナミックコース	Oze-Tokura Snow Park/Dynamic Course	
34	SL	○	SAJ31-SL-71/94	○	7712/1/5	2015/1/2	長野県	野沢温泉スキー場やまびこAコース	Nozawa Onsen Yamabiko Course A	
35	SL	○	SAJ31-SL-75/94				群馬県	岩鞍チャンピオンSLコース		
36	SL	○	SAJ31-SL-76/94	○	9473/1/10	2020/11/1	山形県	蔵王ライザ青い鳥SLコース	Zao Lisa Aoitori Course	
37	SL	○	SAJ31-SL-80/97	○	7857/10/5	2015/10/10	長野県	東館山スラロームコース	Shigakogen Higashidate	

平成31年度 競技施設公認申請一覧表(アルペン/SLコース)										
No	種目	SAJ公認	SAJ公認番号	FIS公認	FIS公認番号	FIS有効期限	管轄県	コース名称	FISコース名称	備考
38	SL	○	SAJ31-SL-84/97				新潟県	糸魚川シーサイドバレー 第6～第5ゲレンデ		
39	SL	○	SAJ31-SL-85/97				鳥取県	大山上の原SLコース		
40	SL	○	SAJ31-SL-87/97	○	9043/12/8	2018/11/1	北海道	ぬかびら温泉郷スキー場SLコース(ワイドコース)	Circuit Course Nukabira/Hokkaido	
41	SL	○	SAJ31-SL-92/98	○	9497/2/10	2020/11/1	北海道	かまい岳SL大会コース	Kamoidake Race Course	
42	SL	○	SAJ31-SL-103/99	○	11299/04/14	2024/11/1	北海道	ニセコグラン・ヒラフスキー場アルペンふりこSLコース	Niseko-Hirafu Alpen-Furiko	
43	SL	○	SAJ31-SL-106/99				富山県	極楽坂チャレンジSLコース		
44	SL	○	SAJ31-SL-107/99	○	10461/01/12	2022/11/1	富山県	たいらスキー場SLコース	Taira Ski resort/Toyama/Raski Course	
45	SL	○	SAJ31-SL-108/00	○	9109/1/9	2019/11/1	長野県	車山高原スキー場ビーナス回廊コース	Kurumayama Venus Course	
46	SL	○	SAJ31-SL-111/00				新潟県	妙高杉ノ原スキー場ダイナミックコースSLコース		
47	SL	○	SAJ31-SL-114/00				宮城県	リゾートパークオニコウベスキー場オールディフィールド回廊コース		
48	SL	○	SAJ31-SL-118/00				北海道	ニセコグラン・ヒラフスキー場花園接続SLコース		
49	SL	○	SAJ31-SL-119/01	○	10015/01/11	2021/11/1	長野県	志賀高原一ノ瀬回廊コース	Ichinose GS Course	
50	SL	○	SAJ31-SL-120/01				岐阜県	朴の木平スキー場スラロームコース		
51	SL	○	SAJ31-SL-121/01				長野県	榑池馬の背北SLコース		
52	SL	○	SAJ31-SL-122/01				青森県	百沢スキー場蔵助コース		
53	SL	○	SAJ31-SL-123/02				山形県	赤倉温泉スキー場園体コース		
54	SL	○	SAJ31-SL-125/02	○	7715/01/05	2015/1/2	北海道	カムイスキーリンクス白樺SLコース	Kamui Links Asahikawa Shirakaba Course	
55	SL	○	SAJ31-SL-127/02				福島県	フェアリーランドかねやますスキー場かもしかAコース		
56	SL	○	SAJ31-SL-128/02				福島県	フェアリーランドかねやますスキー場かもしかBコース		
57	SL	○	SAJ31-SL-129/02				新潟県	松之山温泉スキー場パラダイスコース		
58	SL	○	SAJ31-SL-130/02				新潟県	マウンテンパーク津南スキー場第3ゲレンデAコース		
59	SL	○	SAJ31-SL-131/03	○	10891/03/13	2023/11/1	北海道	富良野スキー場スピースコース	Furano Spiess Course	
60	SL	○	SAJ31-SL-133/03				山形県	蔵王ハーネンカムC回廊コース		
61	SL	○	SAJ31-SL-134/03	○	10456/01/12	2022年11月0日	福井県	九頭竜スキー場競技バーンAコース	Kuzuryu/Kuzuryu A Course	
62	SL	○	SAJ31-SL-135/03				福井県	九頭竜スキー場競技バーンBコース		
63	SL	○	SAJ31-SL-138/03	○	10009/01/11	2021/11/1	石川県	白山白峰アルペン競技場 ヤングバレーコース	Shiramine Toung Valley	
64	SL	○	SAJ31-SL-139/04				山形県	天元台高原スキー場かもしかコース		
65	SL	○	SAJ31-SL-140/04	○	7926/10/5	2015/10/20	長野県	よませビッグベアコース	Yomase Mt.Kohsha	
66	SL	○	SAJ31-SL-141/04				長野県	よませハミングバードコース		
67	SL	○	SAJ31-SL-142/05				岩手県	岩手高原スノーパーク カルガリーゲレンデコース		
68	SL	○	SAJ31-SL-143/05	○	11680/03/15	2025/11/1	新潟県	2016ワールドカップアルペンコース		
69	SL	○	SAJ31-SL-144/06				広島県	瑞穂ハイランドスキー場ビッグモーニングコース		
70	SL	○	SAJ31-SL-147/07				岩手県	夏油高原スキー場 GETO C2コース		
71	SL	○	SAJ31-SL-148/07				北海道	桂沢上・中級者コース		
72	SL	○	SAJ31-SL-149/07				岩手県	安比高原スキー場 ザイラー1Cコース		
73	SL	○	SAJ31-SL-150/07				石川県	白山白峰アルペン競技場 ヤングバレーAコース		
74	SL	○	SAJ31-SL-151/08				岐阜県	朴の木平スキー場 ほおのき平かもしかコース		

平成31年度 競技施設公認申請一覧表(アルペン/SLコース)										
No	種目	SAJ公認	SAJ公認番号	FIS公認	FIS公認番号	FIS有効期限	管轄県	コース名称	FISコース名称	備考
75	SL	○	SAJ31-SL-152/08				岩手県	下倉スキー場 ホワイトコース		
76	SL	○	SAJ31-SL-154/08				滋賀県	国境スキー場乗鞍コース		
77	SL	○	SAJ31-SL-155/08				滋賀県	国境スキー場大谷コース		
78	SL	○	SAJ31-SL-156/09	○	9426/01/10	2020/11/1	北海道	キロロスノーワールドセンターAコース	Center A - Nagamine N.2C	
79	SL	○	SAJ31-SL-157/09	○	9426/01/10	2020/11/1	北海道	キロロスノーワールド長峰No.2-Cコース	Center A - Nagamine N.2C	
80	SL	○	SAJ31-SL-158/09				長野県	黒姫スノーパークからまつコース		
81	SL	○	SAJ31-SL-159/09	○	9530/3/10	2020/11/1	秋田県	八幡平スキー場ブナ森コース	Akita-Hachimantai Bunamori Course	
82	SL	○	SAJ31-SL-160/09				福井県	福井和泉スキー場パノラマBCコース		
83	SL	○	SAJ31-SL-161/09				宮城県	みやぎ蔵王えぼしスキー場ジャンボコース		
84	SL	○	SAJ31-SL-162/09				福島県	猪苗代スキー場ミネロ 赤埴・ミネロウエストコース		
85	SL	○	SAJ31-SL-163/09				岐阜県	ダイナランドスキー場スカイラインBコース		
86	SL	○	SAJ31-SL-165/11				山形県	蔵王猿倉スキー場 振子沢コース		
87	SL	○	SAJ31-SL-167/11	○	10043/01/11	2021/11/1	長野県	エコーバレースキーリゾート アンデルマツコース	Echovalley Andermatt Course	
88	SL	○	SAJ31-SL-168/11				富山県	あわすのスキー場 ダイナミックコース		
89	SL	○	SAJ31-SL-169/11	○	10010/01/11	2021/11/1	岐阜県	モンデウス飛騨位山スノーパーク モンデウススラロームコース	MotDeusHida MontDeus Slalom Course	
90	SL	○	SAJ31-SL-170/11				鳥取県	氷ノ山スキー場 樹氷パノラマコース		
91	SL	○	SAJ31-SL-01/12				群馬県	水上宝台樹スキー場 白樺ゲレンデSLコース		
92	SL	○	SAJ31-SL-02/12				群馬県	鹿沢スノーエリア 鹿沢スノーエリアSLコース		
93	SL	○	SAJ31-SL-03/12				新潟県	大原スキー場 第1ゲレンデAコース		
94	SL	○	SAJ31-SL-05/12				岩手県	雫石スキー場 クリスタルコース(SL)		
95	SL	○	SAJ31-SL-171/13				新潟県	上越国際スキー場 大沢コース(SL)		
96	SL	○	SAJ31-SL-172/13				長野県	戸隠スキー場 とがっきーBコース		
97	SL	○	SAJ31-SL-173/13	○	10842/01/13	2023/11/1	北海道	遠軽ロックバレースキー場チャンピオンSLコース	Engaru Rock Valley Ski Area / Champion Course	
98	SL	○	SAJ31-SL-174/13	○	10882/02/13	2023/11/10	岩手県	雫石スキー場 サンシャインコース	Shizukuisi sunshine Course (SL)	
99	SL	○	SAJ31-SL-175/13	○	10879/02/13	2023/11/10	岩手県	雫石スキー場 ダウンヒルコース	Shizukuisi downhill course (SL)	
100	SL	○	SAJ31-SL-176/13	○	10897/03/13	2023/11/1	長野県	八方パノラマⅢ SLコース	Olympic Course 2	
101	SL	○	SAJ31-SL-177/14				兵庫県	万場スキー場ユートピアゲレンデ トライアングルBコース		
102	SL	○	SAJ31-SL-178/14				島根県	瑞穂ハイランド タタミ回転コース		
103	SL	○	SAJ31-SL-180/14				新潟県	かぐらスキー場大会バーン		
104	SL	○	SAJ31-SL-181/14				新潟県	かぐらスキー場 メインゲレンデ		
105	SL	○	SAJ31-SL-183/15	○			長野県	八方尾根スキー場 リーゼンⅡスラロームコース		
106	SL	○	SAJ31-SL-184/16				長野県	木島平アルペン競技SLコース		
107	SL	○	SAJ31-SL-185/16				長野県	大松山チャンピオンコース		
108	SL	○	SAJ31-SL-186/18				秋田県	ジュネス栗駒スキー場 エルコース		
109	SL	○	SAJ31-SL-187/18				兵庫県	奥神鍋スキー場 スラロームコース		
110	SL	○	SAJ31-SL-188/18				山形県	米沢スキー場 栃平コース		

平成31年度 競技施設公認申請一覧表(アルペン/SLコース)										
No	種目	SAJ 公認	SAJ公認番号	FIS 公認	FIS公認番号	FIS有効期限	管轄県	コ ー ス 名 称	FIS コース名称	備考
111	SL	○	SAJ31-SL-189/18	○			北海道	ニセコグラン・ヒラフスキー場 ダイナミック・ジャンボコース		
112	SL	○	SAJ31-SL-190/18				新潟県	赤倉観光リゾートスキー場 チャンピオンBコース2		
113	SL	○	SAJ31-SL-01/19				兵庫県	神鍋高原スキー場 Cコース		新規
114	SL	○	SAJ31-SL-02/19				栃木県	ハンターマウンテンスキー場 レキシントンコース		新規
115	SL	○	SAJ31-SL-03/19				長野県	さかえ倶楽部スキー場 Dコース		新規
116	SL	○	SAJ31-SL-04/19				福島県	あだたら高原スキー場 アンドロメダコース		新規
117	SL	○	SAJ31-SL-05/19				新潟県	八海山スキー場 前倉ゲレンデ		新規
118	SL	○	SAJ31-GS-06/19	○			北海道	ぬかびら源泉郷スキー場 スキーヒルコース	Nukabira Onsen Skihill	新規

平成31年度 競技施設公認申請一覧表(アルペン/GSコース)										
No	種目	SAJ公認	SAJ公認番号	FIS公認	FIS公認番号	FIS有効期限	管轄県	コース名称	FIS備考(コース名称等)	備考
1	GS	○	SAJ31-GS-01/97	○			北海道	ニセコアンヌプリ大回転コース		
2	GS	○	SAJ31-GS-02/82			2012/12/12	北海道	札幌国際スキー場スイングコース		
3	GS	○	SAJ31-GS-03/79	○	10011/01/11	2021/11/1	北海道	朝里川温泉グリーンコース、レッドコース	Asarigawa/Otaru Red&Green Course	
4	GS	○	SAJ31-GS-06/97			2012/12/12	北海道	名寄ピヤシリGSLコース		
5	GS	○	SAJ31-GS-07/97			2012/12/12	北海道	小樽天狗山旧コース		
6	GS	○	SAJ31-GS-08/97	○	10888/03/13	2023/11/1	北海道	富良野スキー場大回転コース	Furano Kitanomine	
7	GS	○	SAJ31-GS-09/97				北海道	狩勝大回転コース		
8	GS	○	SAJ31-GS-10/97				北海道	ニセコグラン・ヒラフスキー場大回転コース		
9	GS	○	SAJ31-GS-13/86				北海道	札幌国際スキー場エココース		
10	GS	○	SAJ31-GS-14/97	○	9045/12/08	2018/12/1	北海道	阿寒湖畔スキー場ライトウィングGSコース	Akan/Hokkaido Right Wing Course	
11	GS	○	SAJ31-GS-17/89				北海道	びつぶスキー場アルペンGSコース		
12	GS	○	SAJ31-GS-18/97		10013/01/11	2021/11/1	北海道	テイネハイランド男女大回転コース	Teine/Sapporo Teine New Slalom Course	
13	GS	○	SAJ31-GS-19/97	○			青森県	雨池大回転コース		
14	GS	○	SAJ31-GS-20/76				岩手県	網張大回転コース		
15	GS	○	SAJ31-GS-22/86				岩手県	安比高原スキー場ハヤブサコース(大回転)		
16	GS	○	SAJ31-GS-25/82				秋田県	田沢湖大回転コース		
17	GS	○	SAJ31-GS-26/95	○	10906/03/13	2023/11/1	秋田県	花輪アルペンGSコース	Hanawa Ski Slope Large Main Alpine Course	
18	GS	○	SAJ31-GS-27/97				山形県	蔵王ハーネンカム大回転コース		
19	GS	○	SAJ31-GS-29/85				群馬県	片品尾瀬岩鞍GSLコース		
20	GS	○	SAJ31-GS-33/97	○	0817/12/12	2022/11/1	長野県	西館山GSLコース	Nishidate Course	
21	GS	○	SAJ31-GS-37/08				長野県	岩岳こめつがGSコース I		
22	GS	○	SAJ31-GS-38/97				長野県	栂池馬の背北GSコース		
23	GS	○	SAJ31-GS-39/86	○	10517/03/12	2022/11/1	長野県	野沢温泉カンダハークコース	Nozawa Onsen Kandahar	
24	GS	○	SAJ31-GS-41/88	○	9117/01/09	2019/11/1	長野県	菅平スキー場大松山チャンピオンコース	Sugadaira Champion Grand Prix Course	
25	GS	○	SAJ31-GS-45/97				新潟県	赤倉観光リゾートスキー場 チャンピオンBコース(GS)		
26	GS	○	SAJ31-GS-47/97				新潟県	上越国際大回転コース		
27	GS	○	SAJ31-GS-50/91	○	9529/03/10	2020/11/1	岐阜県	朴の木平大回転コース	Hounoki/Gifu Hounokidaira GS Course	
28	GS	○	SAJ31-GS-53/97				兵庫県	奥神鍋大回転コース		
29	GS	○	SAJ31-GS-55/82	○	7859/10/5	2015/10/11	鳥取県	大山国際チャンピオンコース	Daisen/Tottori Kokusai Champion	
30	GS	○	SAJ31-GS-56/82				鳥取県	大山国際リーゼンコース		
31	GS	○	SAJ31-GS-57/86				広島県	ブナ坂大回転コース		
32	GS	○	SAJ31-GS-59/86				岩手県	安比高原スキー場カッコーコース		
33	GS	○	SAJ31-GS-64/97				長野県	一の瀬大回転コース		
34	GS	○	SAJ31-GS-65/93	○	10451/01/12	2022/11/1	群馬県	戸倉スキー場GSダイナミックコース	Oze-Tokura Snow Park Giant Slalom Dynamic Course	
35	GS	○	SAJ31-GS-72/94	○	7711/01/05	2015/1/3	長野県	野沢温泉やまびこAコース(GS)	Nozawa Onsen Yamabiko Course A	
36	GS	○	SAJ31-GS-74/94				群馬県	岩鞍チャンピオンGSコース		
37	GS	○	SAJ31-GS-77/97				福島県	磐梯猪苗代センターGSコース		
38	GS	○	SAJ31-GS-79/97	○	7856/10/05	2015/10/11	長野県	東館山ジャイアントスラロームコース	Shigakogen Higashidate	

平成31年度 競技施設公認申請一覧表(アルペン/GSコース)										
No	種目	SAJ公認	SAJ公認番号	FIS公認	FIS公認番号	FIS有効期限	管轄県	コース名称	FIS備考(コース名称等)	備考
39	GS	○	SAJ31-GS-81/96	○	10819/12/12	2022/11/1	長野県	志賀山大回転コース	Giant Course	
40	GS	○	SAJ31-GS-83/97				新潟県	糸魚川サイドバレー 第6～第5ゲレンデ		
41	GS	○	SAJ31-GS-85/97				北海道	ニセコグラン・ヒラフスキー場ダウンヒルA,B,Cコース		
42	GS	○	SAJ31-GS-86/97	○	9044/12/08	2018/11/1	北海道	ぬかびら温泉郷スキー場 サーキットandワイドコース	Nukabira/Hokkaido Circuit Course	
43	GS	○	SAJ31-GS-87/97				石川県	白山白峰アルペン競技場 ヤングバレーコース		
44	GS	○	SAJ31-GS-91/98	○	9498/02/10	2020/11/1	北海道	かもし岳GS大会コース	Kamoidake Utashinai Kamoidake Race Course	
45	GS	○	SAJ31-GS-93/98	○	9425/01/10	2020/11/1	北海道	キロロスノーワールド長峰第2Cコース	Kiroro Snow World Center A - Nagamine N2C	
46	GS	○	SAJ31-GS-94/98	○	9425/01/10	2020/11/1	北海道	キロロスノーワールドセンターAコース	Kiroro Snow World Center A - Nagamine N2C	
47	GS	○	SAJ31-GS-95/98				北海道	キロロスノーワールド余市第1Aコース		
48	GS	○	SAJ31-GS-102/99	○	11298/04/14	2024/11/1	北海道	ニセコグラン・ヒラフスキー場アルペンふりこGSコース	Niseko-Hirafu Alpen-Furiko	
49	GS	○	SAJ31-GS-104/99				富山県	極楽坂チャレンジGSコース		
50	GS	○	SAJ31-GS-105/99	○	10460/01/12	2022年11月1日	富山県	たいらスキー場GSコース	Taira Ski resort/Toyama/Raski Course	
51	GS	○	SAJ31-GS-108/00				新潟県	妙高杉ノ原スキー場ダイナミックコースGSLコース		
52	GS	○	SAJ31-GS-109/00				新潟県	安塚キュービットバレイスキー場ラ・メール大回転コース		
53	GS	○	SAJ31-GS-110/00				群馬県	片品村村営スノーバル・オグナほたかスキー場大回転コース		
54	GS	○	SAJ31-GS-113/01				長野県	さかえ倶楽部スキー場 Dコース 大回転コース		
55	GS	○	SAJ31-GS-114/01	○	10014/01/11	2021/11/1	長野県	志賀高原ノ瀬大回転コース	Ichinose GS Course Homologation:10014/01/11	
56	GS	○	SAJ31-GS-116/01				長野県	岩岳かもしかGSコース		
57	GS	○	SAJ31-GS-117/01				青森県	百沢スキー場蔵助コース		
58	GS	○	SAJ31-GS-118/02	○			山形県	赤倉温泉スキー場園体コース		
59	GS	○	SAJ31-GS-120/02				宮城県	リゾートパークオニウベスキー場オールディフィールドコース		
60	GS	○	SAJ31-GS-121/02	○	7714/01/05	2015/1/3	北海道	カムイスキーリンクス白樺GSコース	Kamui Links Asahikawa Shirakaba Course	
61	GS	○	SAJ31-GS-123/02				福島県	フェアリーランドかねやまスキー場かもしかAコース		
62	GS	○	SAJ31-GS-124/02				福島県	フェアリーランドかねやまスキー場かもしかBコース		
63	GS	○	SAJ31-GS-126/02	○	8320/10/06	2016/10/31	兵庫県	奥神鍋スキー場橋の木コース	Oku-Kannabe Tochinki Course	
64	GS	○	SAJ31-GS-128/03	○	10890/03/13	2023/11/1	北海道	富良野スキー場スピースコース	Furano Spiess Course	
65	GS	○	SAJ31-GS-129/03				山形県	蔵王ハーネンカムC大回転コース		
66	GS	○	SAJ31-GS-131/03		7925/10/05	2015/10/21	長野県	よませスキー場よませ高社山コース	Yomase Mt.Kousya	
67	GS	○	SAJ31-GS-132/04				山形県	天元台高原スキー場かもしかコース		
68	GS	○	SAJ31-GS-134/05	○	10841/01/13	2023/11/1	北海道	遠軽ロックバレイスキー場チャンピオンGSコース	Shiramine Toung Valley	

平成31年度 競技施設公認申請一覧表(アルペン/GSコース)										
No	種目	SAJ公認	SAJ公認番号	FIS公認	FIS公認番号	FIS有効期限	管轄県	コース名称	FIS備考(コース名称等)	備考
69	GS		SAJ31-GS-135/05				岩手県	岩手高原スノーパーク カルガリーゲレンデコース		
70	GS	○	SAJ31-GS-136/05	○	9472/01/10	2020/11/1	山形県	蔵王ライザ青い鳥コース	Zao Liza Aoitori Course	
71	GS	○	SAJ31-GS-137/05				長野県	鹿島槍遠見Aジャイアントスラロームコース		
72	GS	○	SAJ31-GS-138/06				広島県	瑞穂ハイランドスキー場ビッグモーニングコース		
73	GS	○	SAJ31-GS-139/07				岩手県	夏油高原スキー場 GETO C2コース		
74	GS	○	SAJ31-GS-140/07				岩手県	安比高原スキー場 ザイラー10コース		
75	GS	○	SAJ31-GS-141/07				福井県	九頭竜GSLコース		
76	GS	○	SAJ31-GS-142/07	○	11679/03/15	2025/11/1	新潟県	2016ワールドカップアルペンコース		
77	GS	○	SAJ31-GS-143/08				兵庫県	氷ノ山国際スキー場ロマンズ・パノラマコース		
78	GS	○	SAJ31-GS-144/08				岩手県	下倉スキー場 ホワイトコース		
79	GS	○	SAJ31-GS-146/08				長野県	岩岳こめつがGSコースII		
80	GS	○	SAJ31-GS-149/09				長野県	黒姫スノーパークしらかぼ・からまつコース		
81	GS	○	SAJ31-GS-150/09				福井県	福井和泉スキー場パラダイスBCコース		
82	GS	○	SAJ31-GS-151/09				宮城県	みやぎ蔵王えぼしスキー場ジャンボコース		
83	GS	○	SAJ31-GS-152/09				福島県	猪苗代スキー場ミネロ 赤壇・ミネロウエストコース		
84	GS	○	SAJ31-GS-153/09				岐阜県	ダイナランドスキー場スカイラインBコース		
85	GS	○	SAJ31-GS-156/11				鳥取県	氷ノ山スキー場 樹氷スノーピアコース		
86	GS	○	SAJ31-GS-158/11		10042/01/11	2021/11/1	長野県	エコーバレースキーリゾート サンライズレーシングコース	Echovalley Sunrise	
87	GS	○	SAJ31-GS-01/12				群馬県	鹿沢スノーエリア 鹿沢スノーエリアGSコース		
88	GS	○	SAJ31-GS-03/12				岩手県	雫石スキー場 クリスタルコース(GS)		
89	GS	○	SAJ31-GS-04/12	○	10458/01/12	2022/11/1	新潟県	奥只見丸山かもしかAコース	Okutadami/Kamoshika A	
90	GS	○	SAJ31-GS-159/13	○	10881/02/13	2023/11/1	岩手県	雫石スキー場 サンシャインコース	Shizukuisi sunshine Course (GS)	
91	GS	○	SAJ31-GS-160/13	○	10880/02/13	2023/11/1	岩手県	雫石スキー場 ダウンヒルコース	Shizukuisi downhill course (GS)	
92	GS	○	SAJ31-GS-161/13	○	10896/03/13	2023/11/1	長野県	八方パノラマIII GSLコース	Olympic Course 3	
93	GS	○	SAJ31-GS-162/14				鳥根県	瑞穂ハイランド タタミ大回転コース		
94	GS	○	SAJ31-GS-164/14				長野県	戸狩温泉スキー場 戸狩ツルブリッケンコース		
95	GS	○	SAJ31-GS-165/14				長野県	斑尾高原スキー場チャンピオンコース		
96	GS	○	SAJ31-GS-166/14				新潟県	かぐらスキー場メインゲレンデ		
97	GS	○	SAJ31-GS-168/15				栃木県	ハンターマウンテン塩原 FDR・LEXINGTONコース		
98	GS	○	SAJ31-GS-169/15				長野県	栂池高原スキー場 馬の背南GSコース		
99	GS	○	SAJ31-GS-171/16				長野県	木島平アルペン競技GSコース		
100	GS	○	SAJ31-GS-172/16				秋田県	駒ヶ岳第2コース		
101	GS	○	SAJ31-GS-173/17				長野県	リーゼンGSLコース		
102	GS	○	SAJ31-GS-174/18				長野県	ジュネス栗駒 エルコース		
103	GS	○	SAJ31-GS-175/18				新潟県	松之湯温泉スキー場 GSコース		
104	GS	○	SAJ31-GS-176/18				北海道	ニセコグラン・ヒラフスキー場 ダイナミック・ジャンボコース		
105	GS	○	SAJ31-GS-01/19				秋田県	たざわ湖スキー場 団体コース		新規
106	GS	○	SAJ31-GS-02/19	○			北海道	ぬかびら源泉郷スキー場 スキーヒルコース	Nukabira Onsen Skihill	新規

平成31年度 競技施設公認申請一覧表(アルペン/SGコース)										
No	種目	SAJ公認	SAJ公認番号	FIS公認	FIS公認番号	FIS有効期限	管轄県	コース名称	FIS備考(コース名称等)	備考
1	SG	○	SAJ31-SG-03/97				北海道	名寄ピヤシリSGコース		
2	SG	○	SAJ31-SG-07/97	○	9526/03/10	2015/11/1	北海道	富良野スキー場スピースコース	Furano Spiess Course	
3	SG	○	SAJ31-SG-28/99				北海道	ニセコグラン・ヒラフスキー場アルペンふりこSGコース		
4	SG	○	SAJ31-SG-30/00				北海道	サホロスーパーGSコース セントラルアベニュー～セカンドセントラルウェイ		
5	SG	○	SAJ31-SG-22/97				福島県	磐梯猪苗代センターコースSG		
6	SG	○	SAJ31-SG-14/97	○	10895/03/13	2018/11/1	長野県	八方オリンピックコース2 スーパーG	Hakuba/Happo Olympic Course II	
7	SG	○	SAJ31-SG-20/97				長野県	よませ高社山コース		
8	SG	○	SAJ31-SG-23/97	○	10893/03/13	2018/11/1	長野県	八方オリンピックコースISGコース	Hakuba/Happo Olympic Course I	
9	SG	○	SAJ31-SG-25/97				青森県	大野国際チャンピオンズスーパーGコース		
10	SG	○	SAJ31-SG-37/05				山形県	蔵王ライザ青い鳥コース		
11	SG	○	SAJ31-SG-10/85				群馬県	片品尾瀬岩鞍SGコース		
12	SG	○	SAJ31-SG-36/05				岩手県	岩手高原スノーパーク カルガリーゲレンデコース		
13	SG	○	SAJ31-SG-35/03				山形県	蔵王ハーネンカムCスーパーGコース		
14	SG	○	SAJ31-SG-33/02	○	10041/01/11	2016/11/1	北海道	カムイスキーリンクス白樺SGコース	Kamui Links/Asahikawa Shirakaba Course	
15	SG	○	SAJ31-SG-39/09				福島県	猪苗代スキー場ミネロ 赤埜・ミネロウエストコース		
16	SG	○	SAJ31-SG-38/05	○	9412/12/09	2014/11/1	長野県	志賀高原西館山スーパーGコース	Shigakogen Mt. Nishidate SG Course	
17	SG	○	SAJ31-SG-31/01				岩手県	安比高原スキー場ハヤブサコース(スーパー大回転)		
18	SG	○	SAJ31-SG-41/13	○	10878/02/13	2018/11/1	岩手県	雫石スキー場 ダウンヒルコース	Shizukuisi downhill course (SG)	
19	SG	○	SAJ31-SG-34/03				秋田県	花輪スキー場アルペンSGコース		
20	SG	○	SAJ31-SG-01/19	○	承認待ち		秋田県	たざわ湖スキー場 国体コース		新規

平成31年度 競技施設公認申請一覧表(アルペン/DHコース)										
No	種目	SAJ 公認	SAJ公認番号	FIS 公認	FIS公認番号	FIS有効期限	管轄県	コース名称	FIS備考(コース名称等)	備考
1	DH	○	SAJ31-DH-07/97				北海道	名寄ピヤシリDHコース		
2	DH	○	SAJ31-DH-15/97	○	10894/03/13	2018/11/1	長野県	八方オリンピックコース2 DHコース	Hakuba/Happo Olympic Course II	
3	DH	○	SAJ31-DH-24/97	○	10892/03/13	2018/11/1	長野県	八方オリンピックコース1DHコース	Hakuba/Happo Olympic Course I	
4	DH	○	SAJ31-DH-25/13	○	10877/02/13	2018/11/1	岩手県	雫石スキー場 ダウンヒルコース	Shizukuisi downhill course (DH)	

アルペン競技 SAJ競技施設公認について

SAJ競技施設公認について

- 申請の期限：7月31日まで
(※ 期限については、2018年、変更される場合がある。その際は、加盟団体に通知する。)
- 有効期限：10月1日から翌年9月末とし、施設公認を継続する場合は毎年7月31日までに更新手続きを行う。
- 公認料・登録料：競技施設公認料 10,000円(初年度のみ)
競技施設登録料 20,000円(毎年)

SAJ競技施設公認手続きの手順

時期	手順	担当者	
	申請書類の作成 加盟団体に申請	コース管理者	<p>【必要書類】 ※申請の際には以下の書類をPDF変換し、マルチページ(必要なすべてのファイル)を1つにまとめる。容量は8MB以内)化し申請しなくてはならない。</p> <p>ICR 650条に基づいた書類。(アルペン委員会より後日公表)</p>
7月31日まで	SAJに申請	加盟団体事務局	上記必要書類に、申請書を添えてSAJに送付
	調査員の決定	アルペン委員会	アルペン委員会内で調査担当者を決定する。
	調査員の報告	SAJ事務局	調査員の氏名を加盟団体に報告する。
	コース調査実施	調査員 コース管理者	スキー場関係者と調査員が連絡を取り合い調査を実施。 注)調査員の旅費・日当は申請者が負担する。
	調査報告	調査員 SAJ事務局	調査員が報告書を作成し、SAJ事務局を通じて加盟団体に報告。
10月下旬	調査報告内容の確認	アルペン委員会	
11月上旬	公認の判定	アルペン委員会	
	公認の承認	SAJ理事会	SAJ理事会で承認する。
	公認証の発送	SAJ事務局	公認証の発送と共に、競技施設公認料・登録料の案内をする。
	公認料・登録料の納付	加盟団体事務局	

アルペン競技 FIS競技施設公認について

FIS競技施設公認について

- 競技施設申請の期限：7月31日まで
(※ 期限については、2018年、変更される場合がある。その際は、加盟団体に通知する。)
- 公認料・登録料：FIS公認料 150スイスフラン
海外送金手数料(9,500円)

注)FIS公認を取るには、SAJ公認を受けていなくてはなりません。すでにSAJ公認を受けている場合は上記料金のほかに下記登録料がかかります。SAJ公認、FIS公認共に新規の場合は、下記公認料・登録料がかかります。

競技施設公認料 10,000円(初年度のみ)
競技施設登録料 20,000円(毎年)
- FIS公認の有効期限：滑降及びスーパーG 5年間
回転及び大回転 10年間

※上記期限がきたら、再度公認申請が必要となります(FIS公認料の納入も必要です)。

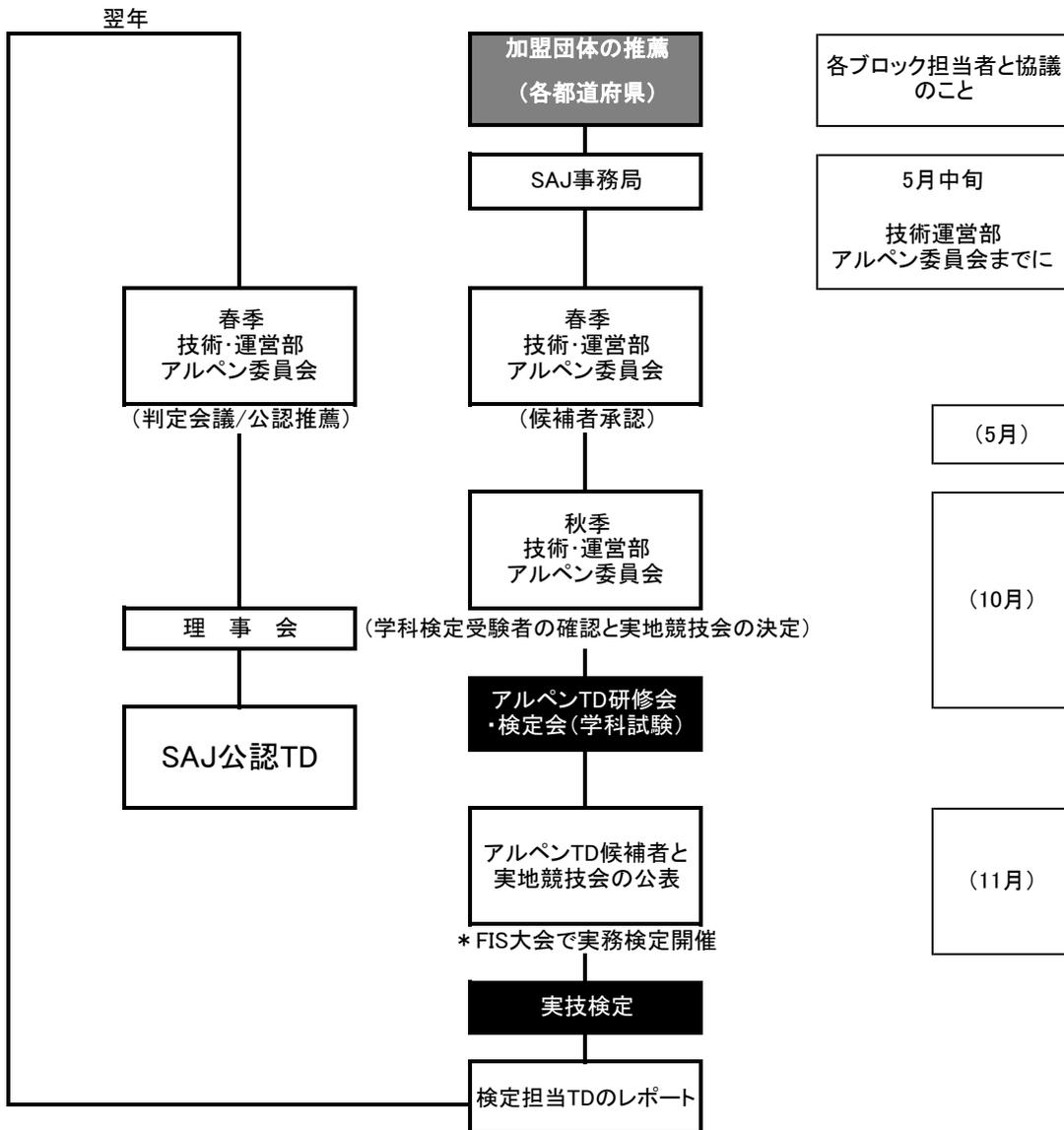
FIS競技施設公認手続きの手順

時期	手順	担当者	
	申請書類の作成 加盟団体に申請	コース管理者	<p>【必要書類】 ※申請の際には以下の書類をPDF変換し、マルチページ(必要なすべてのファイルを1つにまとめる。容量は8MB以内)化し申請しなくてはならない。 ICR 650条に基づいた書類。(アルペン委員会より後日公表)</p> <p>詳細は、アルペン競技規則(ICR)最新版をご確認下さい。</p>
	SAJに申請	加盟団体事務局	上記必要書類(CD-Rom)に、申請書を添えてSAJに送付
	調査員の報告	SAJ事務局	調査員(インスペクター)の氏名を、加盟団体に報告する。
	コース調査実施	調査員 コース管理者	スキー場関係者と調査員が連絡を取り合い調査を実施。 注)調査員の旅費・日当は申請者が負担する。
	調査報告	調査員 SAJ事務局	調査員が報告書を作成し、SAJ・FISに報告。 SAJが加盟団体に報告。
	調査報告内容の確認・公認	FISアルペンコース小委員会	FISより申請者(クラブ)に公認証の原本が送付される。 FISよりSAJ事務局にFIS公認料の請求書が届く。
	FIS公認料の支払い・請求	SAJ事務局	SAJがFIS公認料を立替払いし、加盟団体に請求する。
	公認料・登録料の納付	加盟団体事務局	

競技本部加盟団体及びブロック主管事業

	検定会名称	主管加盟団体	期 日	会 場	責任者 役職 氏名
1	旗門審判員検定会(志賀高原会場)	長野県	1月16日 ~ 1月17日	長野県 志賀高原スキー場	長野県スキー連盟 アルペン部 部長 宮田 享
2	旗門審判員検定会(秋田会場)	秋田県	1月18日 ~ 1月19日	秋田県鹿角市 花輪スキー場	秋田県 北村幸男
3	旗門審判員検定会(岩鞍会場)	群馬県	3月26日 ~ 3月27日	群馬県ホワイトワールド尾瀬岩鞍	群馬県 競技本部長 吉野 透
4	旗門審判員検定会(富山会場)	富山県	1月27日 ~ 1月28日	富山県たいらスキー場	富山県 アルペン部長 関 潤
1	セッター研修会・学科(岐阜会場)	岐阜県	11月3日	岐阜県 こくふ交流センター	岐阜県 育成委員長 高橋佑介
2	セッター研修会(岩鞍会場)	群馬県	1月22日 ~ 1月24日	群馬県ホワイトワールド尾瀬岩鞍	群馬県 競技本部長 吉野 透
3	セッター研修会・実技(岐阜会場)	岐阜県	1月26日	岐阜県 飛騨ほおの木平スキー場	岐阜県 育成委員長 高橋佑介
4	セッター研修会(蔵王ライザースキー場) 山形県・宮城県・福島県3県合同開催	福島県	12月15日 ~ 12月16日	山形県(蔵王ライザースキー場)	福島県 競技本部長 相原正裕
5	セッター研修会(西日本会場)	広島県	12月22日 ~ 12月23日	鳥取県 だいせんホワイトリゾート	広島県 強化本部長 松野英文
1	B級セッター検定会(岐阜会場)	岐阜県	3月21日 ~ 3月21日	岐阜県 飛騨ほおの木平スキー場	岐阜県 育成委員長 高橋佑介
2	B級セッター検定会(岩鞍会場)	群馬県	4月5日 ~ 4月6日	群馬県ホワイトワールド尾瀬岩鞍	群馬県 競技本部長 吉野 透
3	B級セッター検定会(蔵王ライザースキー場) 山形県・宮城県・福島県3県合同開催	福島県	3月下旬~4月上旬	山形県(蔵王ライザースキー場)	福島県 競技本部長 相原正裕
4	B級セッター検定会(西日本会場)	広島県	3月	鳥取県 だいせんホワイトリゾート	広島県 強化本部長 松野英文
	(予定)SAJセッター検定会	SAJ	4月12日 ~ 4月14日	長野県野沢温泉スキー場	SAJアルペン委員会

2018/19 SAJ公認アルペン技術代表の受検手順



公認技術代表アルペン部細則

1. この細則は、公認技術代表規程第11条に基づき、必要な事項を定める。
2. 技術代表ライセンスを与えられる候補者は、次の各号に掲げるとおりとする。
 - (1) 過去5年間、SAJ公認競技会において係長以上の業務に5大会以上携わった者で、A又はB級セッター（公認競技会でのセッター経験者）であること。
 - (2) 過去5年間、国内主要A級、FISのFECの競技委員長を3大会以上経験した者。
 - (3) 本連盟の公認資格取得者（SAJ公認コーチ、旗門審判員、ポイント計算員のうち1つ以上）で、AまたはB級セッター（公認競技会でのセッター経験者）であること。
 - (4) 前号の(1)、(2)、(3) いずれかに該当する者（受験年度の4月1日時点で50才未満）で、加盟団体においてアルペン専門委員を複数年務め、競技会の技術指導に携わり、各加盟団团长及び本連盟より推薦された者であること。
3. 本連盟技術代表ライセンス試験は、学科と実技（競技会運営）とし、学科試験に合格した後、本連盟が指定するFIS公認競技会で1大会以上の実務検定を行う。
4. ライセンスを与えられた技術代表の任務とライセンス更新は、次の各号に掲げるとおりとする。
 - (1) 「TD業務稼働」には、当該シーズン直前のセミナー受講を必須とする。
 - (2) 「TD資格更新」は、2年に一度のセミナー受講を必須とする。
5. 公認技術代表規程第8条の規定により、資格の停止を受けた者は、ライセンスカードは失効とし、ライセンスカードを再取得するためには、新たに技術代表候補訓練の課程を修了しなければならない。
6. 公認競技会技術代表の資格は、次の各号に掲げるとおりとする。
 - (1) 本連盟TDのライセンス取得者であること。
 - (2) TD資格者が60才を超えた者は、名誉TDとし、各ブロックにおいてTD候補者の指導養成に当たる。ただし、特に必要と認めた場合は、65才までは競技会のTDを担当することができる。
7. FIS・TDの受験資格者は、SAJ・TDの資格を有し、最も能力を備えた委員の中から次の各号に掲げる事項を考慮して選考する。
 - (1) アルペンスキー競技組織運営規則に関する知識があること
 - (2) 大会組織運営の責任者として得た経験があること
 - (3) 少なくともFIS公用語の一つ（英語推奨）に通じていること
 - (4) スキーシーズン中、身柄がある程度自由であること
 - (5) 優秀なスキーヤーとしての資格者（選手経験者、コーチ経験者）であること
 - (6) 本連盟の行う教育・養成セミナーに参加し、研修した実績があること
8. TDは、ICR602.5に準じた謝礼を、公認大会実行委員会もしくは公認大会組織委員会より受ける権利がある。
9. この細則の改廃は、競技本部理事会の議決による。

平成30年 10月 20日 改正

アルペンTD候補者推薦書

FIS SAJ (○をつけてください)

記入年月日 年 月 日(西暦で記入)

フリガナ 氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日(歳)	
加盟団体			加盟団体役職			
所属団体			SAJ会員No			
連絡先	自宅	〒 eメール TEL 携帯				
	勤務先	名称 : 所属部署 : TEL				
研修会受講状況	前年度受講日時	年	月	日	場所	
	前々年度受講日時	年	月	日	場所	
既得資格	資格名称		取得年月		取得会場	

* 加盟団体記入欄	
加盟団体名・団体長名	
担当者氏名	印
	印

* 所属団体記入欄	
所属団体名・団体長名	
代表者名	印

アルペンTD検定会申込書

FIS SAJ (○をつけてください)

記入年月日 年 月 日(西暦で記入)

フリガナ 氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日(歳)	
加盟団体			加盟団体役職			
所属団体			SAJ会員No			
連絡先	自宅	〒				
	勤務先	eメール TEL 携帯				
研修会受講状況	前年度受講日時	年 月 日 ~ 月 日		場所		
	前々年度受講日時	年 月 日 ~ 月 日		場所		
既得資格	資格名称		取得年月		取得会場	

* 加盟団体記入欄	
加盟団体名・団体長名	
	印
担当者氏名	印

* 所属団体記入欄	
所属団体名・団体長名	
	印
代表者名	印



公益財団法人 全日本スキー連盟

Ski Association of Japan

全日本スキー連盟公認技術代表(アルペンTD)旅費精算書

* 本精算書はSAJTDとして派遣された国体以外の全てのアルペン大会で共通仕様となります。(2017/18より)

* 太枠内を記入してください。

大会情報記入欄	大会開催地		期間	年 月 日
			種目	<input checked="" type="checkbox"/> AL <input type="checkbox"/> CC <input type="checkbox"/> JP <input type="checkbox"/> NC <input type="checkbox"/> SB <input type="checkbox"/> FS <input type="checkbox"/> Div./Other

担当TD情報記入欄	氏名	
	住所	
	携帯	

謝礼金 (1日=10,000円)	日数 × 10,000 = 合計額	<input type="text"/> 日	X10,000円 =	
* 規定稼働日以外の移動日も含む。				
交通費(車)	移動距離 × 20円 = 合計額	<input type="text"/> Km	X 20円 =	
高速道路料金 有料道路料金など	利用区間			
公共交通機関料金	利用区間			
移動途中の前後泊の宿泊代金 その他、食事代、送料など	内 訳			
合計請求額				

コメント記入欄	
---------	--

受領者記入欄	受領日	年 月 日
	受領地	
	受領者 イン欄	サ

2018-2019用 SAJ-TD名簿

退	IDコード	所 属	氏名	生年
◎	01 / 007 / 86	北海道	安達 侖	1942
◎	01 / 008 / 87	北海道	美浪 秀行	1943
◎	01 / 009 / 87	北海道	坂東 弘	1943
◎	01 / 010 / 87	北海道	近藤 建治	1942
◎	01 / 048 / 90	北海道	小野 弘治	1947
◎	01 / 061 / 92	北海道	小野 幸男	1951
◎	01 / 064 / 92	北海道	工藤 裕	1949
◎	01 / 065 / 94	北海道	佐藤 祐一	1938
	01 / 066 / 94	北海道	押切 孝志	1962
	01 / 067 / 94	北海道	相原 博之	1961
◎	01 / 088 / 95	北海道	松岡 尚幸	1952
◎	01 / 101 / 98	北海道	林 義寛	1945
	01 / 104 / 98	北海道	玉川 映一	1953
◎	01 / 105 / 98	北海道	大原 敏史	1952
	01 / 115 / 02	北海道	益田 昇悟	1957
	01 / 116 / 02	北海道	奈良 哲矢	1959
	01 / 117 / 02	北海道	大西 孝治	1961
	01 / 118 / 02	北海道	押切 敬司	1967
	01 / 119 / 02	北海道	網野 正信	1969
	01 / 155 / 06	北海道	新 敏彦	1965
	01 / 156 / 06	北海道	長沢 順	1965
	01 / 157 / 06	北海道	湯谷 信二	1967
	01 / 171 / 08	北海道	竹谷 浩昌	1961
	01 / 172 / 08	北海道	斉藤健太郎	1965
	01 / 185 / 11	北海道	猿田 和也	1977
	01 / 192 / 11	北海道	谷口 充	1968
	01 / 193 / 12	北海道	山田 綾和	1965
	01 / 194 / 12	北海道	岡田 亮典	1974
	01 / 195 / 12	北海道	川口 城二	1974
	01 / 196 / 12	北海道	岡田 翼	1978
	01 / 207 / 13	北海道	小林 弘幸	1979
	01 / 208 / 14	北海道	玉川 祐介	1981
	01 / 215 / 16	北海道	佐藤 雪大	1983
	01 / 216 / 16	北海道	滝下 靖之	1976
	01 / 232 / 17	北海道	水尾 大輔	1979
	01 / 233 / 17	北海道	高橋 健一	1968
	01 / 234 / 17	北海道	松本 大誠	1979
	01 / 235 / 17	北海道	宮園 慎一	1970
◎	02 / 011 / 88	青森	澤田 晴美	1950
◎	02 / 044 / 89	青森	工藤 利雄	1946
	02 / 109 / 99	青森	宮川 拓人	1955
	02 / 120 / 02	青森	澤田 敦	1958
	02 / 141 / 04	青森	成田 正隆	1954
	02 / 217 / 16	青森	前田 洋海	1981
◎	03 / 012 / 88	岩手	下田 淳	1941
◎	03 / 069 / 94	岩手	佐藤 俊久	1940
	03 / 070 / 94	岩手	吉田 光彦	1956
	03 / 110 / 99	岩手	遠藤 茂哉	1954
	03 / 133 / 03	岩手	関 治人	1960
	03 / 143 / 05	岩手	佐々木洋幸	1956
	03 / 191 / 11	岩手	松浦 高行	1971
	03 / 208 / 13	岩手	津島佐智幸	1963
	03 / 212 / 15	岩手	瀬川 康明	1975
	03 / 213 / 15	岩手	伊東 雄一	1971
	04 / 142 / 04	宮城	渡辺 淳浩	1963

退	IDコード	所 属	氏名	生年
◎	16 / 027 / 86	長野	丸山 仁也	1942
◎	16 / 028 / 86	長野	小林 昭一	1937
◎	16 / 030 / 86	長野	河野 政男	1949
◎	16 / 032 / 87	長野	矢口 公勝	1947
◎	16 / 033 / 87	長野	猪股 茂	1942
◎	16 / 034 / 88	長野	吉沢 勇	1952
◎	16 / 057 / 93	長野	古橋 市男	1948
◎	16 / 058 / 93	長野	田原 一正	1950
◎	16 / 059 / 93	長野	山本 勇一	1952
	16 / 062 / 92	長野	片桐 幹雄	1955
	16 / 063 / 92	長野	村本 俊治	1953
	16 / 091 / 95	長野	富井 修	1960
	16 / 092 / 95	長野	板倉裕木治	1961
	16 / 096 / 97	長野	中村 実彦	1960
	16 / 097 / 97	長野	大谷 幸雄	1956
◎	16 / 114 / 00	長野	高橋 信夫	1952
	16 / 125 / 02	長野	藤原 進	1955
	16 / 126 / 02	長野	高橋 英一	1955
	16 / 127 / 02	長野	河野 正徳	1961
	16 / 149 / 05	長野	森 晃	1964
	16 / 158 / 06	長野	宮田 貴夫	1964
	16 / 163 / 07	長野	切久保 豊	1968
	16 / 165 / 08	長野	富井 剛志	1971
	16 / 166 / 08	長野	立花 達也	1966
	16 / 167 / 08	長野	竹村 満弘	1971
	16 / 173 / 08	長野	宮田 亨	1966
	16 / 181 / 10	長野	猪股 修	1970
	16 / 236 / 17	長野	湯本 寿一	1969
	16 / 237 / 17	長野	丸山 公平	1979
	16 / 238 / 17	長野	山田 勇氣	1979
◎	17 / 021 / 80	新潟	畑山 匡	1927
◎	17 / 023 / 86	新潟	次井 雪雄	1947
◎	17 / 024 / 86	新潟	白井 孝雄	1948
◎	17 / 025 / 88	新潟	高橋喜平太	1948
◎	17 / 053 / 90	新潟	柳 健一	1949
	17 / 093 / 95	新潟	佐藤 清	1959
	17 / 107 / 98	新潟	星野 龍一	1956
	17 / 146 / 05	新潟	前原 力	1970
	17 / 147 / 05	新潟	柳 一成	1965
	17 / 148 / 05	新潟	霜鳥 敏	1964
	17 / 180 / 10	新潟	裾澤 俊明	1966
	17 / 223 / 16	新潟	田村 康大	1972
	17 / 224 / 16	新潟	八木橋拓史	1980
	17 / 225 / 16	新潟	高野 大	1974
	17 / 230 / 17	新潟	羽賀 徹昭	1972
	17 / 239 / 17	新潟	山浦 悟	1974
	17 / 240 / 17	新潟	松田 涉	1977
◎	18 / 051 / 90	富山	山中 茂	1950
◎	18 / 098 / 97	富山	田中 広志	1950
	18 / 128 / 02	富山	高尾 昭寿	1958
	18 / 170 / 08	富山	青木 満	1958
	18 / 206 / 13	富山	上坂 悟	1969
	18 / 210 / 14	富山	関 潤	1971
◎	19 / 082 / 94	石川	山本 外勝	1949
◎	19 / 099 / 97	石川	殊才 豊	1950

	04 / 200 / 12	宮城	千葉 忠幸	1969
	04 / 218 / 16	宮城	中鉢 豊	1971
	04 / 242 / 17	宮城	笹原 宗悦	1982
◎	05 / 014 / 86	秋田	上野 満	1936
◎	05 / 071 / 94	秋田	佐藤 有一	1941
	05 / 072 / 94	秋田	佐々木一隆	1954
	05 / 122 / 02	秋田	伊藤弥市郎	1956
	05 / 144 / 05	秋田	三船 文樹	1953
	05 / 145 / 05	秋田	加藤 清孝	1962
	05 / 183 / 11	秋田	藤木 剛	1970
	05 / 219 / 16	秋田	佐藤 範朋	1978
	05 / 220 / 16	秋田	佐藤 智弥	1973
	05 / 221 / 16	秋田	高関 公典	1981
◎	06 / 013 / 88	山形	岡崎 敏博	1941
◎	06 / 045 / 89	山形	富田 政利	1950
◎	06 / 074 / 94	山形	安食 英治	1950
	06 / 075 / 94	山形	菊地 勉	1958
	06 / 111 / 99	山形	鈴木 基文	1962
	06 / 135 / 03	山形	佐藤 司郎	1956
◎	06 / 136 / 03	山形	桐生 正貴	1952
	06 / 162 / 07	山形	庄司 優	1965
	06 / 168 / 08	山形	安部 康典	1966
	06 / 197 / 12	山形	板垣 太郎	1972
	06 / 198 / 12	山形	瀧澤 孝次	1975
	06 / 199 / 12	山形	川口 豊	1962
	06 / 209 / 14	山形	岡崎 若華	1970
	07 / 089 / 95	福島	豊沢 繁雄	
	07 / 112 / 99	福島	相原 正裕	1962
	07 / 169 / 08	福島	須佐 光夫	1969
	09 / 214 / 15	栃木	源田 道昭	1980
◎	10 / 015 / 80	群馬	林 清	1936
◎	10 / 016 / 88	群馬	萩原 壮児	1948
◎	10 / 087 / 95	群馬	羽賀 敏雄	1952
	10 / 095 / 97	群馬	入沢登喜夫	1956
	10 / 123 / 02	群馬	羽田 勤	1959
	10 / 140 / 04	群馬	萩原 勇	1965
	10 / 176 / 09	群馬	入澤 茂	1968
	10 / 182 / 10	群馬	吉野 透	1973
	10 / 201 / 12	群馬	本多 一男	1973
	10 / 202 / 12	群馬	小林 洋幸	1971
	10 / 241 / 17	群馬	松本 和也	1974
	11 / 124 / 02	埼玉	干場 敏幸	1955
◎	12 / 018 / 86	東京	大杖 正彦	1946
	12 / 222 / 16	千葉	相馬 明	1965
◎	13 / 020 / 88	東京	尾山 正人	1946
◎	13 / 041 / 86	東京	大杖 二郎	1948
◎	13 / 081 / 94	東京	長澤 茂利	1950
	13 / 177 / 09	東京	江川 太郎	1967
	13 / 184 / 11	東京	柴田 和浩	1962
	14 / 113 / 99	神奈川	菊池富士夫	1953
	15 / 179 / 10	山梨	望月 政英	1973

	19 / 129 / 02	石川	吉村 真一	1961
	19 / 159 / 06	石川	櫻井 外郷	1961
	19 / 211 / 14	石川	元尾 武彦	1973
	19 / 226 / 16	石川	山口 浩二	1976
	20 / 174 / 09	福井	竹田 昇	1966
	20 / 175 / 09	福井	三嶋 憲雄	1971
	23 / 160 / 06	愛知	高橋 稔	1955
◎	24 / 035 / 88	岐阜	三橋 正美	1951
	24 / 078 / 94	岐阜	岩谷 高峰	1960
	24 / 130 / 02	岐阜	滝川 勝	1953
	24 / 131 / 02	岐阜	大場 順二	1958
	24 / 134 / 03	岐阜	垣下 大吾	1962
	24 / 189 / 11	岐阜	下畑 由衛	1970
	24 / 227 / 16	岐阜	水田奈央生	1975
	24 / 228 / 16	岐阜	高橋 佑介	1979
	24 / 229 / 16	岐阜	平田 令吾	1982
	25 / 083 / 94	滋賀	青谷藤代一	1953
	25 / 139 / 04	滋賀	八軒 徹	1964
	25 / 190 / 11	滋賀	夏目 正樹	1964
◎	26 / 036 / 88	京都	寺池 正樹	1945
	26 / 188 / 11	京都	畑中 直哉	1963
	27 / 151 / 05	大阪	大久保 岳	1960
	27 / 186 / 11	大阪	松田 和久	1961
	28 / 164 / 07	兵庫	岡森 且哉	1956
	28 / 231 / 17	兵庫	本城 良彰	1971
◎	31 / 100 / 97	鳥取	山崎 孝夫	1946
	31 / 152 / 05	鳥取	森谷 哲郎	1957
	31 / 153 / 05	鳥取	山崎 一孝	1971
	31 / 154 / 05	鳥取	宮本 亮	1965
	31 / 187 / 11	鳥取	森岡 靖彦	1971
	32 / 215 / 15	島根	林正茂	1975
◎	33 / 084 / 94	岡山	濱崎 義明	1941
	33 / 132 / 03	岡山	中島 信二	1957
	33 / 204 / 12	岡山	牧野 浩也	1964
	34 / 137 / 03	広島	松野 英文	1960
◎	35 / 108 / 98	山口	米沢 豊久	1951
	35 / 203 / 12	山口	三浦 成寿	1961
◎	39 / 094 / 95	高知	宮地 繁	1929
◎	48 / 039 / 80	学連	富井 一	1940
◎	48 / 042 / 88	学連	奈良 康憲	1947
◎	48 / 047 / 89	学連	大出 一水	1942
◎	48 / 085 / 94	学連	市村 政美	1949
	48 / 106 / 98	学連	神崎 信彦	1960
	48 / 138 / 04	学連	渡辺 正浩	1960
	48 / 161 / 06	学連	牧原 統	1955
	48 / 178 / 09	学連	澤野 博	1970
	48 / 205 / 12	学連	佐藤照友旭	1977
	16 / 243 / 18	長野	関 理奈	1976
	11 / 244 / 18	埼玉	斉藤 昌宏	1981
	18 / 245 / 18	富山	佐伯 護	1975
	18 / 246 / 18	富山	山本 和弘	1976
	01 / 247 / 18	北海道	高木 和敬	1981



◎: 66歳以上

2018/19 S A Jセッター事業計画

① セッター研修会

目的	F I S 競技規定の確認、理論ならびに実技の研修
期間 場所 宿舎	期間 2018年11月16日(金)～18日(日) ※集合 17:30 解散 13:00 会場 長野県 野沢温泉スキー場 〒389-2502 長野県野沢温泉村豊郷 TEL 0269-85-3166 宿舎 山のホテル大瀧 〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷 7821-1 TEL 0269-85-4000
対象者	S A J 公認A級・B級セッター有資格者 S A J 公認A級・B級セッター受験予定者 各都道府県スキー連盟または各チームでコーチとして活動されている方。
担当者	アルペン委員会委員長 加藤 清孝
講師	八軒 徹 宮田 享 戸谷 龍一 新村 栄司 北村 健
備考	各都道府県スキー連盟で受講希望者を取りまとめ、所定の様式により、S A J 事務局まで申込む。

② セッター検定会

目的	S A J 公認資格 A級・B級公認セッター検定会
期間 場所 宿舎	期間 2019年4月12日(金)～14日(日) ※集合 17:30 解散 13:00(予定) 会場 長野県 野沢温泉スキー場 〒389-2502 長野県野沢温泉村豊郷 TEL 0269-85-3166 宿舎 未定
対象者	全日本スキー連盟A級セッター受験者 各都道府県スキー連盟の推薦で全日本スキー連盟B級セッター受検者
担当者	アルペン委員会委員長 加藤 清孝
講師	八軒 徹 他
備考	各都道府県スキー連盟で受験希望者を取りまとめ、所定の様式により、S A J 事務局まで申込む。

※日程、宿舎等の詳細は開催要項でご確認ください。

SAJ公認アルペンセッター資格受験手順

10月下旬

SAJセッター研修会開催要項等の送付

(ブロック主催の研修会は、開催地の都合に合わせて研修会を実施する)

☆セッター検定の受験条件 (研修会の参加について)

- ・ A級、B級とも当該 (受験) 年度にセッター研修会を受講していること。

☆セッターの受験資格

- A級
- ・ 全日本ナショナルチームコーチとして2年以上、または、全日本選手権大会、コンチネンタルカップにおいて10位までの入賞が3回以上の者の中で、当該 (受験) 年度にB級公認大会以上で技術系種目1回、高速系種目1回の実務を経験した者。
 - ・ B級の資格を取得した者の中で、受験日までの2シーズン以内に (受験年度含む)、B級公認大会で2レース以上のセットを行い、高速系種目で1レース以上の実務を経験した者。
- B級
- ・ 各都道府県選手権大会及び都道府県公認競技会等で実務を経験した者で、加盟団体が本連盟に推薦した者。

☆年齢制限

- ・ A級及びB級の受験者の年齢は、受験する年の4月1日現在で、A級は22歳以上、B級は20歳以上とする。

《A級セッター検定希望の場合》

- ① SAJ主催の検定会を受験。
- ② 受験日までに技術系・高速系それぞれの実務を完了していること。

《B級セッター検定志望の場合》

- ① SAJ主催の検定会を受験
 - ② 各ブロック主催の検定会を受験
- ※①②どちらかの検定会を受験する。

3月上旬
SAJ主催
の場合

所属加盟団体に受験申込→所属加盟団体に受検資格審査

(申込様式は、SAJからの開催要項に添付—3月上旬)

SAJセッター検定会 (学科検定・実技検定) 4月上旬

6月上旬

SAJ春季アルペン委員会 (セッター資格者の評定) 6月上旬

(ブロック主催検定会の合格者含む)

資格者として推薦

SAJ理事会 (公認) 6月下旬

SAJから所属加盟団体事務局へ通知

公認セッター

年 月 日

SAJ 公認アルペン A 級セッター検定 高速系・技術系種目実務終了報告書

1. 実務修了者

氏 名	所 属 県 名

2. 実務実施内容

大 会 名	
種 目	
開 催 地	
競 技 日	
役 職	

上記のとおり、実務が終了したことを証明します。

平成 年 月 日

証明者 役職： _____ 氏名： _____

※実務終了後、TDまたは、競技委員長に証明サインをもらって下さい。

※SAJ アルペンセッター検定会の申込書に添付してください。(A 級受験者のみ)

※実務内容がセッターおよび高速系のレフリー・サブレフリーの場合はリザルトのみ添付する。

(報告書は必要ありません)

ALセッター研修会

会場：長野県 野沢温泉スキー場

公益財団法人 全日本スキー連盟 会長 殿

2018～2019・SAJアルペンセッター研修会申込書

記入年月日 年 月 日(西暦で記入)

フリガナ 氏名			性別 男・女	生年月日	(西暦) 年 月 日(歳)
加盟団体	所属団体		SAJ会員No.		
連絡先	〒		E-mail		TEL
研修会受講状況	前年度受講日時	平成 年 月 日・月 日	場所		
	前々年度受講日時	平成 年 月 日・月 日	場所		
既得資格	資格名称		取得年月		取得会場
宿泊	要 不要		該当するのに○をしてください。		

※加盟団体記入欄	
加盟団体名・団体長名	
担当者氏名	
①	
②	

※所属団体記入欄	
所属団体名・団体長名	
代表者名	
①	

2018/2019シーズン SAJ・FIS 競技者の事後登録について

1 競技者登録とは

公益財団法人全日本スキー連盟(SAJ)及び国際スキー連盟(FIS)が公認する競技会へ出場する場合、行わなければならない登録のことです。SAJ公認大会へ出場する全ての競技者は、大会にエントリーする前までに“SAJ競技者登録”を完了していなければなりません。

また、SAJ競技者登録をする(した)競技者のうち、FIS公認大会へ出場する全ての競技者は、大会にエントリーする前までに“FIS競技者登録”を完了しなければなりません。

どちらの登録も、単年度ごとに手続きをする必要があります。

《注意》

FIS公認大会では、大会TDの権限により事前にSAJを通じてFIS競技者登録をしなくても大会に出場できる場合があります。この場合は事後、必ず競技者登録申込をしなければなりません。違反した場合は、競技者登録規程第8条に基づき、登録を取り消す場合もあります。

2 競技者登録方法

既に2018/2019シーズンのSAJ会員登録を完了された方が、競技者登録をされる場合に、事後登録を行ってください。まだ、SAJ会員登録をされていない方については、「継続会員登録表」等でSAJ会員登録とともに、競技者登録を行ってください。

SAJホームページ内のSAJデータバンクから、自分が登録する競技を選択し、「2018/2019 SAJ各競技 競技者登録申込書」を作成してください。プリントアウトし手書きで記入し作成することもできます。

申込書は、競技者から所属団体(所属クラブ)へ、所属団体から加盟団体(当該都道府県スキー連盟及び(公社)全日本学生スキー連盟)へ提出してください。直接SAJに申込書を送付しても受け付けられません。

登録の流れ : 競技者→所属団体(所属クラブ)→加盟団体→SAJ→SAJデータバンク

申込締切 : 加盟団体指定の締切日(所属の加盟団体に確認してください。)

登録完了 : 2018/2019各競技 競技者登録申込書を提出し、ウェブ上の競技ごとのバイオグラフィから、氏名または、競技者番号で検索し、「登録済み」と表示されていれば登録完了になります。必ず確認してください。もし、「登録済み」と表示されていない場合は、まず、所属の加盟団体にお問い合わせいただき、SAJに申込書をいつ送付されたか確認してください。

3 競技者登録申込書

SAJデータバンクウェブ上で申込書を作成し、印刷してください。

更新の場合は、競技者番号を入力すると各項目（公開情報のみ）が表示されます。

先シーズンから変更がある場合は訂正してください。新規登録の場合は、すべての項目を入力（記入）してください。

なお、更新の方で会員番号の入力（記入）のない申込書は受け付けられません。会員番号はお手元の会員証、または所属の加盟団体にてご確認ください。

また、旧様式（旧年度の様式等）の競技者登録申込書ではお申込みいただけません。

4 選手宣誓書

SAJ及びFISへ登録する競技者は、選手宣誓書の提出が必須条件です。

本人の署名がない、未成年の方で保護者の署名（保護者署名欄は、所属コーチ及び監督等は不可）がない等の不備がある場合は、SAJ・FIS公認大会への出場は認められません。SAJ競技者登録とFIS競技者登録にそれぞれ署名が必要になります。SAJ宣誓書は有効な書類が提出されていれば再度の提出は結構です。ただし、前シーズンの登録をされていない方、加盟団体を移動しての移籍登録者についてはあらためて宣誓書のご提出をお願いします。

5 未成年（満18歳未満）競技者のドーピング検査実施について同意書の提出について
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の規定に従い、未成年（満18歳未満）の競技者については親権者の署名がある同意書の提出を義務付けることになっています。登録申込みの際に署名・捺印をした同意書のご提出をお願いします。

*JADAの規定変更に伴い、未成年の扱いが満18歳未満となっております。ご注意ください。
一度提出された方は18歳を過ぎるまでの再度のご提出は必要ありません。

また、**2018/2019シーズン用で様式が変更されておりますが、一度提出されている方の提出は必要ありません。**これから提出して頂く方は新様式ですのでお間違えの無いようご注意ください。

6 複数競技の登録について

2競技以上登録をする場合は、申込書はそれぞれ一枚ずつ作成してください。競技者登録料もそれぞれ発生します。

ただし例外として、ノルディック競技の申込書はジャンプ、コンバインド、クロスカントリーで同じ書類（一枚）を使用します。登録料につきましてもSAJ競技者登録料は1競技分になります。（FIS競技者登録料はジャンプ、コンバインド、クロスカントリーそれぞれ1競技ごとに登録料が発生します。）

《注意》

クロスカントリーリレーに出場する場合は、クロスカントリーの競技者登録が必要です。

以下、申込書内の記載内容について説明します。

① 登録区分

会員登録：「登録済」「移籍」の2つの登録形態があります。

今年度SAJ会員登録を完了された方は「登録済」、SAJ会員登録を完了され、所属団体を変更される方は「移籍」を○で囲んでください。

SAJ競技者登録：「新規」「更新」の2つの登録形態があります。

競技者登録申込書の「新規」「更新」のいずれか該当する方を○で囲んでください。

「申込済」とは、既に当該シーズンのSAJ競技者登録を申込済みで、FIS競技者登録を追加する場合です。

FIS競技者登録：「新規」「更新」の2つの登録形態があります。競技者登録申込書の「新規」「更新」のいずれか該当する方を○で囲んでください。

《注意》

FIS公認大会に出場する予定のない競技者が、間違っFIS登録に○をつけてしまった場合、登録料が発生しますのでご注意ください。登録が完了してしまうと変更、キャンセルはできません。また、FIS競技者登録ができない年齢で申し込みをされる方も見受けられますので、「FIS競技者登録可能年齢一覧表」で必ず確認してください。

・SAJ・FISそれぞれ当該競技において、全く初めて登録をする方は「新規」になります。

・SAJ競技者番号は2008/2009 シーズン以降は永久番号になっていますので、番号を持っている方は「更新」になります。（登録していないシーズンがあっても「更新」になります。）番号を持っていない方は「新規」になります。

・FIS競技者番号は、永久番号のため、一度でも登録したことがある方は「更新」になります。（登録していないシーズンがあっても「更新」になります。）

② SAJ 会員番号

競技者登録をする全ての競技者は、SAJ会員登録をしなければなりません。必ずSAJ会員番号を入力（記入）してください。

加盟団体を移籍してもSAJ会員番号は変更になりません。

③ SAJ競技者番号

更新の方のみ記入してください。

④ FIS競技者番号

更新の方のみ記入してください。

⑤ 加盟団体名

所属する都道府県スキー連盟及び学生スキー連盟を入力（記入）してください。

SAJ会員登録をする団体と競技者登録をする団体は同一でなければなりません。

⑥ 氏名

フリガナ、姓名、へボン式ローマ字を記入してください。

「へボン式ローマ字のつづり方」をご参照ください。

⑦ 生年月日

西暦で記入してください。

⑧ 性別

「男」・「女」を選択し○で囲んでください。

⑨ 電話番号・携帯番号

登録処理、運営上の理由で問い合わせをする場合がありますのでご了承ください。

⑩ 所属名

所属名は、「所属団体名」、「学校名・チーム名」と2つ記入する欄があります。所属団体名ではない所属名を使用する場合は、「学校名・チーム名」にも記入してください。

所属団体名：加盟団体に登録している（SAJ 登録会員証に記載されている）所属先名称のことです。所属団体一覧コード表から、自分の所属団体コードを検索し、6桁の数字を正しく入力（記入）してください。コード表に所属団体がない場合には、新規登録手続き中の場合が考えられますので手書きで団体名を記入してください。

学校名・チーム名：競技者登録で使用する所属先名称のことです。バイオグラフィー、スタートリスト、リザルト、ポイントリストに掲載される名称です。学校名・チーム名一覧コード表から、自分の所属する学校名・チーム名コードを検索し、6桁の数字を正しく入力（記入）してください。

正しく入力（記入）されないと違う所属団体・チームの登録処理になる場合や、登録が完全に完了できません。コードは正しく入力（記入）していただくよう、ご注意ください。

なお、学校名・チーム名の記入がない場合には所属団体がバイオグラフィー、スタートリスト、リザルト、ポイントリストに掲載されます。

《注意》

2013/2014シーズンから、学校名・チーム名は登録制となりました。学校名・チーム名一覧に名称がない場合は、「学校名・チーム名称の登録申請書」を提出し登録を行ってください。

なお、学校名・チーム名は、「競技者登録 所属名称・チーム名記入についてのルール」に基づいて入力しますので予めご了承ください。

*学校名・チーム名一覧コードは2015/2016シーズンより新しく整備し直しました。新しいコード番号を確認し記入をしてください。

⑪ カテゴリー区分

該当する年代別の区分を○で囲んでください。

7 変更届について

バイオグラフィーで表示されている内容が間違っている場合には、「変更届」を使用してください。「変更届」は、SAJデータバンクウェブ上から入力し印刷できます。

[変更届印刷の手順]

SAJデータバンク→登録・申請→登録内容の変更→検索→競技者登録検索（変更）に表示されるSAJ競技者番号をクリック→変更届を印刷

《注意》

- ・ 2018/2019シーズンの競技者登録が完了した方のみ提出することができます。
- ・ 競技者本人から直接SAJに送付されたものについては受け付けいたしません。

加盟団体は、必ず内容の確認を行いSAJに変更届を提出してください。

8 移籍の申請について

競技者登録を完了後、**所属団体の移籍があった場合には**「会員継続登録期間外移籍の申請書」を在籍所属団体→在籍加盟団体→受入加盟団体経由でSAJまで提出してください。

9 競技者登録（変更届も含む）の受付期限

2018/2019シーズンの受付期限は各競技の最終大会の前までで、別途お知らせいたします。



SAJ競技者登録のための選手宣誓書

提出日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

SAJ会員番号

--	--	--	--	--	--	--	--

SAJ競技者番号

--	--	--	--	--	--	--	--

FIS競技者番号

--	--	--	--	--	--	--	--

加盟団体名

スキー連盟

氏名

--

生年月日

西暦	年	月	日
----	---	---	---

性別

男	女
---	---

1. 危険の確認

私は、SAJカレンダーに記載されている競技会への参加に伴う危険や、トレーニング及びレース中に起こり得る重力による危険を十分に認知しており意識している。私は、自分の体力の限界に挑戦して優秀な成績を挙げようとするに危険があることを認識している。私は、このような競技に参加することによって、生命と身体を危険にさらす可能性があることを認知しており受け入れている。さらに、私は、競技及びトレーニングエリア内で上記のような危険が何者かを脅かすかもしれないことを認知している。また、前記記述の危険には、環境条件、技術・道具、大気の影響が、自然若しくは人工的障害物と同様に含まれることも認知している。私は、ある動作や行動は常に予測・制御出来る訳ではなく、したがって、安全対策によって防ぐことも出来ないことを認知している。

2. 危険の承認

私は、競技及びトレーニングコースの自分にとっての難易度は、自分が判断することであることを承認している。私は、インスペクションを行い何か安全性について気付いたことがあれば直ちにジュリーに知らせることに同意する。競技で実際にスタートすることやトレーニングに参加することは、コースの状況と適切さを私が受け入れたことを示す。また、私は、自分の使用する用具の選択とコース上のライン取りとライン処理の能力については、自分の責任であることに同意する。

3. 個人的責任

私は、自分が競技及びトレーニングに参加した結果、第三者の怪我や用具の破損が起きた場合、第三者の損害に対して自分に個人的責任があり得ることを承知している。私は、自分の用具の点検や取締りが、大会組織の責任ではないことに同意する。私は、競技会に参加する前に、自分が競技の規則について詳しく知る必要があるということに同意する。

4. 紛争の解決

私は、司法裁判所に請求を開始する前に、日本スポーツ仲裁機構(JSAA)に、まず私の請求をすることに同意する。私がこの仲裁に同意しない場合は、どこか適切な司法裁判所に持ち込むか、再度請求するかは私の自由である。この選手宣誓は法的行動に従事する可能性のある相続人、後継者、受益者、親族、譲受人等に対しても拘束力を持つことに同意する。

5. ドーピング防止

私は、国際ドーピング防止機構(WADA)、FIS、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(JADA)及びSAJのドーピング防止規定を遵守する。

6. 個人情報の取扱い

(1)目的
私は、SAJがスノースポーツの普及及び振興を目的として、選手、保護者、指導者の皆様に多くの情報を発信するために、私の個人情報を利用することに同意する。また、これらの私の個人情報をSAJが主催または公認する競技大会及び事業を円滑に運営するためにも利用されることに同意する。

(2)利用の範囲
私は、SAJが取得した私の個人情報を、SAJ、SAJ加盟団体、所属団体、その他のSAJ主催または公認する競技大会及び事業に必要と認められた団体において利用されることに同意する。また、業務上必要な委託先に取扱うことに同意する。

(3)公開
私は、氏名、性別、所属加盟団体、所属クラブ、ポイント、生年月日については、WEBサイト等にて公開されることに同意する。

私は、上記の宣誓書を読み、競技の施設やその準備または競技の実施に関して、大会組織の責任を縮小したり、制限するものではないということを理解し、また、ドーピング防止、個人情報の取り扱いについても同意する。

※未成年の選手に対して、上記の各条項、条件への選手の同意を私が親・保護者として承認していることを証明いたします(所属コーチ、監督等は除く)。

【宣誓年月日:西暦で記入】	【選手本人署名欄】

【同意年月日:西暦で記入】	【選手との続柄】	【保護者署名欄】

FIS競技者登録のための選手宣誓書

提出日 年 月 日

SAJ会員番号

--	--	--	--	--	--	--	--

SAJ競技者番号

--	--	--	--	--	--	--	--

FIS競技者番号

--	--	--	--	--	--	--	--

加盟団体名

--

氏名

--

ATHELETES DECLARATION FOR REGISTRATION WITH THE INTERNATIONAL SKI FEDERATION (FIS)

I, the undersigned, understanding that my signature to this declaration does not limit the obligation of the organizer to prepare and maintain competitions courses in accordance with FIS rules and FIS safety standards then in effect,

Family Name	First Name	DoB (dd/mm/yyyy)	Nation
Ski/Snowboard Club:			
Discipline: Alpine <input type="checkbox"/>	Nordic <input type="checkbox"/>	Other <input type="checkbox"/>	Gender: Male <input type="checkbox"/>
			Female <input type="checkbox"/>

make the following declaration:

1. FIS RULES; REGULATIONS AND PROCEDURES

I understand and accept that my participation at any event which is part of the FIS calendar is subject to my acceptance of all FIS rules applicable in connection with such event. I therefore agree to be submitted to such rules, regulations and procedures and to the jurisdiction of the bodies which are in charge of applying them, including but not limited to the exclusive jurisdiction of the Court of Arbitration for Sport CAS in Lausanne, Switzerland, where such is provided by FIS rules.

2. ACKNOWLEDGEMENT OF RISKS

I am fully aware and conscious of the potential risks involved in competition skiing activities and of the risk caused by speed and gravitational forces, be it during training or during the actual competition. I recognize that there are risks linked with the attempt to achieve competitive results which requires me to stretch my physical abilities. I also know and accept that the risks factors include environmental conditions, technical equipment, and atmospheric influences as well as natural or manmade obstacles. I am further aware that certain movements or actions cannot always be anticipated or controlled and therefore cannot be avoided or prevented through safety measures.

Consequently, I know and accept that when I engage in such competitive activities, my physical integrity and, in extreme cases, even my life may be at risk.

Furthermore, I know and accept that the above mentioned dangers linked with my participation may threaten third parties within the competition and training area.

I will conduct my own inspection of training and competition courses. I will immediately notify the jury of any safety concerns I may have. I understand that I am responsible for the choice of the appropriate equipment and of its condition, for the speed at which I race and for the selection of my line through the course.

3. PERSONAL LIABILITY

I understand that I may be found personally liable to third parties for damages arising from bodily injury or property damage they may suffer as a result of an occurrence linked with my participation in training or competition. I agree that it is not the responsibility of the organizer to inspect or supervise my equipment.

4. RELEASE

To the extent permitted by the applicable law, I release FIS, my National Association, and the organizers and their respective members, directors, officers, employees, volunteers, contractors and agents from any liability for any loss, injury, or damage suffered in relation to my participation in FIS sanctioned competition or training.

5. DISPUTE RESOLUTION

Without limitation to the jurisdiction of any body of competent jurisdiction in connection with the application of the FIS Rules, regulations and procedures to which I submit as a consequence of my participation at events that are published in the FIS calendar (see point 1 above), I agree that any dispute which is not to be adjudicated in application of procedures provided for by the FIS Rules, regulations and procedures, but which arises between myself and the FIS and/or the organizer of an event in the FIS calendar, including but not limited to claims for damages of either party against the other arising out of occurrences (acts or omissions) linked with my participation to such an event shall be governed by Swiss law and exclusively settled by arbitration before the Court of Arbitration for Sport ("CAS") in Lausanne in accordance with the CAS rules then in effect.

This Declaration be governed and construed according to Swiss law and to the extent permitted by applicable law shall also be binding on my heirs, successors, beneficiaries, next of kin or assigns who might pursue any legal action in connection with the same.

I have read and understood the above Athlete's Declaration.

Location	Date	Signature of athlete

For Athletes of minority age (according to national laws):

This is to certify that, as parent/guardian of this participant, I do consent to his/her agreement to be bound by each of the terms and conditions identified above.

Name (Printed) - Parent/Guardian	Date	Relationship	Signature of Parent/Guardian

11. FIS 脳振盪ガイドライン(2017 年版)

目次

11.1 概要	1
11.2 背景	1
11.3 脳振盪とは何か	2
11.3.1 脳振盪の理解の重要性	2
11.4 脳振盪の兆候とは何か	3
表1:よくある脳振盪の早期兆候と症状	3
11.5 ステージ1:脳振盪の診断と管理	4
11.5.1 応急処置の原則を思い出せ:	4
11.5.2 評価と移動	4
11.5.3 疑わしければ、参加させない	4
11.5.4 監視を続ける	4
11.6 医師や医療関係者がいる場合	4
11.7 記憶に関する質問の例.....	4
11.8 医師や医療関係者がいない場合	5
11.9 初期症状 – 遅発性の場合あり.....	6
11.10 ステージ2 – 競技復帰	6
11.11 段階的復帰プロトコル	6
表2: 段階的復帰プロトコル	7
11.12 小児および青少年	7
表3: 復学戦略	8
11.13 GRTP 過程における症状の再発	8
11.14 症状の再発	8
11.15 残存効果と後遺症	9
12. 有用なリンク	9

11.1 概要

- 脳振盪は選手の長期福利を守るためにもきわめて慎重に対処されなければならない。
- 脳振盪の疑いのある選手は直ちに競技から外れ、競技または練習を再開してはならない。
- 脳振盪の疑いのある選手は医学的に評価されなければならない。
- 脳振盪の疑いのある選手、又は脳振盪と診断された選手は段階的競技復帰プロトコル (GRTP: a graduated return to play protocol)を必ず経なければならない。
- 対象選手は競技復帰する前に必ず医学的に許可を受けなければならない。

11.2 背景

スポーツ関連脳振盪(SRC)はスポーツ医学において、診断、評価、管理がもっとも複雑な障害とされている。

FIS は選手の福利を真剣に捉え、世界脳振盪ガイダンスおよび脳振盪チューリッヒコンセンサス(チューリッヒ 2008/2012; ベルリン 2017)に従うことを目的とする。脳振盪の分野の科学的知識は絶えず進化していくため、統一見解としての FIS ガイドラインは、これらの変化に確実に対応していかなければならない。ガイドラインは医師やその他の医療関係者、そして指導者、チーム管理者、教師、保護者と選手に使用されるよう作成された。

ガイドラインは脳振盪を受傷した選手が効果的に管理され、彼らの長期健康と福利を守ることを保証するためのものである。

FIS は、2017 年のベルリンコンセンサス声明を踏まえた脳振盪ガイドラインを推奨する。我々はベルリンの勧告に従って保守的で規範的な角度からアプローチする。脳振盪を評価し、回復過程を導くために使用されているポケット脳振盪識別ツール(PCRT: Pocket Concussion Recognition Tool)とサイドラインでの脳振盪評価ツール(SCAT: Sideline Concussion Assessment Tools)が改訂されたため、最新版(SCAT5 と Child SCAT5)の使用を推奨する。注意: PCRT は医師以外も使用できるが、SCAT ツールは医師のみが使用するものである。

FIS ガイダンスは、国際的なコンセンサスの推奨に基づいている。ガイダンスから逸脱する場合には、この領域の専門知識を有する医療者によって管理されなくてはならない。臨床的には、ガイダンスの指示よりも保守的な転帰をたどる場合がしばしばある。例えば、多くの競技において、競技復帰(RTP)までの平均期間は、推奨されている 6/7 日より通常長い。

SCAT5 に用いられる用語、過程、評価は、国によって異なるかもしれない。もし負傷した選手の言語が英語以外だった場合には、選手を担当する医療者は、適切に翻訳された SCAT ツールを探すべきである。

11.3 脳振盪とは何か

脳振盪とは外傷が原因で脳に直接的または間接的に外力が伝わり、脳の機能に一時的な障害を生じる複雑な過程である。その進行と消退は急速で自然におこる。

スポーツ関連脳振盪の大多数は意識消失や明らかな神経学的兆候を伴わない。

脳振盪は順次消退していく段階的な臨床的兆候と症状の組み合わせにより生じる。

脳振盪は構造上の傷害よりも機能的な障害をもたらし、標準的な神経画像は通常は正常である。

FIS の種目に参加する競技者は、脳振盪を引き起こしうる直接的および間接的な外力にさらされやすいかもしれない。

11.3.1 脳振盪の理解の重要性

幸いにも、ほとんどが脳振盪には至らないが、脳振盪を生じさせる外力(直接的、間接的/伝搬性のいずれも)は冬季スポーツではよく起こる。

FIS メディカルガイド

2017 版

脳振盪の初期症状はバリエーションが大きい。回復はしばしば兆候や症状の急速な消退と認知の変化(数分から数日)とともに自然に起こる。このことが、選手が脳振盪の症状を受傷時に無視したり、診断された脳振盪から完全に回復する前に競技復帰してしまう可能性を増加させる。その結果より重度の脳障害や復帰時期の遷延が生じ得る。

この重度の、また遷延する障害を生じる可能性のために、脳振盪が完全に回復するまでの包括的な医学的評価とフォローアップが必要である。

脳振盪の完全な回復前の競技復帰は、選手の脳振盪の再発のリスクを高めてしまう。繰り返す脳振盪は、選手の競技人生を短くし、不可逆的な神経損傷を生じる可能性がある。

稀に、繰り返す脳振盪は壊滅的で生命を脅かす結果をもたらすかもしれない。選手は自分を守るためにも、自分自身と医療スタッフに対して正直でなければならない。

我々は、脳振盪は可変的かつ流動的な障害であり、時に進行性で遷延する兆候や症状が特徴であることを強調する。脳振盪の疑いがある選手は、48時間は監視されなくてはならない。48時間以降に症状が出現することは滅多にない。

11.4 脳振盪の兆候とは何か

選手が脳振盪を起こしている可能性を示す兆候と症状を表1に示す。もし選手に頭頸部への直達外力あるいは他の部位から頭部へ伝わる外力の結果として表1で示されたいずれかの症状が表れる場合、脳振盪が疑われる。

表1:よくある脳振盪の早期兆候と症状

指標	兆候
症状	頭痛 めまい 霧の中にいるような感覚 失見当識 複視 嘔吐
身体的兆候	意識消失(疑いもしくは確定) 外傷性てんかん;強直肢位 不適切なプレイ動作、足のふらつき、 転倒時防衛反応の消失 うつろな表情 起き上がるのが遅い 頭を抱える バランス障害、協調運動障害 耳鳴り;光/音への過敏
行動の変化	不適切な感情、苛立ち、

	緊張や不安を感じる
認知障害	反応時間の鈍化 混乱/失見当識 注意力や集中力の低下 脳振盪発症前後の記憶の喪失
睡眠障害	眠気

11.5 ステージ1:脳振盪の診断と管理

選手が脳振盪の疑いがあるときどう対処すべきか？

11.5.1 応急処置の原則を思い出せ

迅速に - 傷害の一般的な評価

- i. GSC (Glasgow Coma Scale)
- ii. 頸椎検査
- iii. Maddocks Questions (スポーツに適したもの、下記参照)

もし競技者の状態が大幅に懸念される場合には、最寄りの医療機関への緊急搬送を検討しなければならない。

11.5.2 評価と移動

選手が脳振盪の疑いがある場合は、競技から直ちに外れ、競技を再開させてはならない。

11.5.3 疑わしければ、参加させない

11.5.4 監視を続ける

脳振盪は時に進行性の障害であり、遅発性(通常は受傷後 48 時間以内)に兆候や症状が出現する可能性があるため、悪化の兆しを見逃さない。

11.6 医師や医療関係者がいる場合

頭部外傷や脳振盪を引き起こす可能性のある外傷が生じ、医師または医療関係者がいる場合、選手は検査を行い、もし表 1 に示されたいずれかの兆候や症状が認められたり、ポケット脳振盪識別ツール(PCRT)の 5 つの記憶に関する質問を正しく回答出来なかった場合、選手は包括的な医学的評価のために競技場から直ちに外れなければならない。選手のバランス評価は、この場外評価に含まれるべきだ。選手は一度脳振盪の疑いで競技から外れたら、再参加してはならない。選手を競技場もしくはサイドラインから退場させ、静かな場所(例:救護室)へ移動させて、SCAT5 の評価(医療者の場合のみ)を含めた全体的な評価をすることが望ましい。競技者にテストの前に(10 分間)休息を取らせても良い。注意: SCAT5 は脳振盪を診断もしくは除外するために用いるべきではない。もし SCAT5 が“正常”であっても、競技者が脳振盪を発症している可能性はある。

11.7 記憶に関する質問の例(チーム競技のために考案された Maddocks Questions からの引用):

FIS メディカルガイド

2017 版

- 私たちは今日どこの会場にいますか？
- 今は1本目ですか？それとも2本目ですか？
- 1本目であなたは何位でしたか？
- 先週あなたはどこの大会に参加していましたか？
- 前回の大会であなたは何位でしたか？

選手は一般的な緊急管理手順に従って安全に移動されなければならない。頸髄損傷が疑われる場合には、適切な脊髄のケアのトレーニングを受けた救急医療関係者によってのみ移動されるべきである。

もし医師が競技場にいる場合は、彼らは脳振盪あるいは脳振盪疑いの選手の包括的な医学的評価の一助として、スポーツ脳振盪評価ツール SCAT5 <http://bjsm.bmj.com/content/bjsports/early/2017/04/26/bjsports-2017-097506SCAT5.full.pdf> 又は、その他の診断ツールを使用できる。SCAT5は13歳以上の選手にのみ使用可能とする。

脳振盪の疑いのある選手はその後の診断に関係なくステージ2、段階的競技復帰プロトコルに進む。

SCAT5 脳振盪評価プロトコルは、医師が使用するためだけにダウンロードが可能である。

11.8 医師や医療関係者がいない場合

医師または医療関係者が不在の場合、受傷した選手は見当識を失い、自身の状況に関して判断が出来ない可能性がある。

頭部外傷もしくは脳振盪を引き起こす可能性のある外傷後、表1に示すいずれかの兆候を示す選手を見た選手やコーチ、大会役員、チーム管理者、運営者、保護者は、選手を確実に競技場から安全に移動させることに全力を尽くさなければならない。選手を一人にしてはいけない、また乗り物を運転してはならない。もし医師が現地にいない場合は、選手はできるだけ早く医師を受診し、診断と包括的な評価を受けなければならない。ポケット脳振盪識別ツール(PCRT)(後述のリンクを参照)は、外傷発生時に医師がいない場合に、脳振盪の疑いがあるかの同定の一助として使用可能である。最も重要なことは、選手が以下に該当するかどうかである：

- a. 表1のいずれかの症状を示す
- b. PCRTの記憶に関する質問のいずれかでも答えられない
- c. バランスの喪失やPCRTにある危険信号症状を示す
- d. 脳振盪を疑わせる懸念がある

これらのいずれかに該当する場合、脳振盪管理ガイドラインに従わなければならない。選手は競技から外れ、直ちに医師または救急部に診断と包括的な評価を受けなければならない。脳振盪の疑いのある選手はその診断に関係なく、段階的競技復帰プロトコルに進む。

PCRTは以下のリンクからアクセス可能である：

<http://bjsm.bmj.com/content/early/2017/04/26/bjsports-2017-097508CRT5>

11.9 初期症状 –遅発性の場合あり

脳振盪の初期症状は脳振盪が疑われる原因となる外傷後すぐに生じることもあれば、遅れて(通常は最初の 24-48 時間以内に)症状が出現する場合もある。

これらの遅発性の症状を見逃さないための監視システムを構築しなくてはならない。脳振盪が確定したもしくは疑われる場合には、新たな症状の出現や、症状の進行の兆候がないか、繰り返し確認しなくてはならない。

11.10 ステージ 2 –競技復帰

FIS は、競技復帰までには最低でも 7-10 日間の期間を設けること、また熟練した医師による許可を得たうえでのみトレーニングへ復帰することを推奨する。

回復までに要する休養期間に関しては、十分なエビデンスがない。24-48 時間の短期間の休養後に、段階的復帰(GRTP)計画を開始することが妥当であろう。

症状が持続する場合には専門家へ紹介する。

成人では 10-14 日以上

子供(13 歳未満)では 4 週間以上

症状の遅延や異常な回復経過を示す症例では、脳振盪専門家による正式な神経心理学的な検査を受けなくてはならない。

一般的に、初期症状が重症であるほど、回復も遅くなる。

日々の多様な専門的検査を受ける手段がある場合にのみ、表 2 に示した時系列を例外的に早めることができるかもしれない。

注意: 以下についてはエビデンスがある。

- i. 小児は成人よりも脳振盪後の回復に時間を要する
- ii. 女子選手は男子選手よりも影響を受けやすく、回復に時間がかかるかもしれない

11.11 段階的復帰プロトコル

競技復帰のために推奨されるアウトラインを表 2 に示す。それには柔軟性がなくてはならない。もし症状が持続する場合、再発する場合には開始してはならず、負傷した選手は以前のステップに戻る前に、24 時間の休養を取らなくてはならない。それは選手と医療スタッフ/コーチングスタッフが協調して行う過程である。

プロトコルは無症状になった時点で開始されるべきである。GRTP の過程を完遂するには、通常最低でも 1 週間を要するが、より多くの時間がかかる場合もある。

科学は不完全であり、個人ベースの臨床的な評価が脳振盪管理と GRTP プロトコルにおける鍵であると認識されている。

表 2: GRTP プロトコル

リハビリテーションステージ	リハビリテーションの各ステージの機能的エクササイズ	各ステージの目標
1. 活動なし、医師の管理がある場合は受傷から最低24時間（それ以外は受傷から最低14日間）	無症状での身体的、認知的休養の完了	回復
2. 24時間の期間中の軽い有酸素運動	ウォーキング、水泳またはサイクリングマシン、予想最大心拍数<70%を維持。筋力トレーニングはなし。24時間の無症状。	心拍数の増加
3. 24時間の期間中のスポーツ特異的な運動	ランニング練習。頭部への衝撃を伴う運動はなし。24時間の無症状。	動作の追加
4. 24時間の期間中のノンコンタクトの練習	複雑な動作の練習へと進む。（例：パス練習など）筋力トレーニングの開始。24時間の期間中無症状。	運動、協調運動、認知的負荷
5. フルコンタクト練習	医師の許可の後、通常練習に参加	自信の再取得、コーチによる機能的技術の評価
6. 24時間後、競技復帰	リハビリ終了	完全復帰

選手が医師に脳振盪の診断を受ける、あるいは GRTP を管理してもらえない極端な状況もありうる。これらの状況下では、もし選手が脳振盪の兆候がある場合、その選手は脳振盪の疑いとして扱われなければならない。受傷後最低でも 21 日間は競技へ復帰してはならない。減弱させた GRTP 計画に従うべきである。その選手に関わる他の選手、コーチ、大会運営者はその選手がこの過程に従っていることを確認する。

現地での法律と規制に従って、医師による競技復帰への最終的な許可書が常に求められるべきである。

11.12 小児および青少年

ガイドラインは全年齢の選手に適応される一方、成長過程の脳に対する脳振盪によって生じ得る危険性のため、小児や青少年には特に注意が必要である。

学習への復帰や競技復帰プロトコルを開始する前に、最初の数日間は身体および認知機能を休息させることが推奨される。

13 歳未満の小児には異なった脳振盪の症状が表れる可能性があるため、診断ツールを用いた医師による評価が必要である。小児 (5-12 歳) および青少年 (13-18 歳) に脳振盪の疑いがある場合は直ちに医師を受診する。

加えて、専門医による医学的評価が必要な場合もある。小児や青少年の治療に責任のある医師は選手の競技復帰について指示するが、より慎重な段階的競技復帰が推奨される。これより先に、学習/学校へ段階的に復帰しなければならない(SCAT5 CHILD および表 3 参照)。段階的競技復帰プロトコルのステージ 4 もしくは 5 に進む前に、復学プロトコルを達成すべきである。小児および青少年においては、無症状の休養期間と段階的な負荷の期間を延長することが適切である。

小児や青少年は医師の許可なく競技復帰してはならない。

SCAT5-CHILD は、以下のリンクから、医師が使用するためだけにダウンロードが可能である。

<http://bjsm.bmj.com/content/bjsports/early/2017/04/26/bjsports-2017-097492childscat5.full.pdf>

表 3: 復学戦略

ステージ	目的	活動	各ステップのゴール
1	生徒/競技者が症状をきたさない、家での日常的な活動	症状を増悪させない日中の典型的な活動(例;読書、書き物、視聴)。5-15分から開始し、少しずつ増やす。	典型的な活動への段階的復帰
2	学校の活動	宿題、読書または教室外での認識活動	認識負荷への耐性強化
3	部分的な復学	学業の段階的な導入。授業日の一部、もしくは日中の休息を増やして開始する必要があるかもしれない。	学術活動の増加
4	フルタイムの復学	段階的進行	学術活動全般への復帰と、学業の遅れを取り戻す

11.13 GRTP 過程における症状の再発 – 一段階前のステップのプロトコルを再開する前に 24 時間休息する

選手は脳振盪後できるだけ早く競技へ復帰したいものである。選手、コーチ、管理者、保護者、そして教師らは、以下に注意して行動しなければならない。

- i. 全ての症状が治まったことを確実にする
- ii. GRTP プロトコルに従ったことを確実にする
- iii. 医師の指示に厳密に従ったことを確実にする

これらを実行する上で、全ての配慮が選手の競技寿命と長期における健康のリスクを減らすことができる。

11.14 症状の再発

脳振盪の管理過程に関わる全ての人は、脳振盪受傷後に GRTP を修了後も、症状(うつ病やその他の精神衛生上の問題を含む)の再発に警戒しなければならない。もし症状が再発した場合、選手は直ちに医師を受診しなければならない。そして脳振盪の管理過程に関わる全ての者もしくは症状

の再発に気づいた者は、対象の選手ができるだけ早く医師の診察を受けることを確実にするべきである。

11.15 残存効果と後遺症

脳振盪後にみられる多くの様々な症状について以下に記す(しかし以下に限ったものではない):

- i. 抑うつ
- ii. 認知機能障害
- iii. 不安
- iv. 頭痛
- v. 睡眠障害
- vi. 外傷後ストレス障害(PTSD)
- vii. 慢性外傷性脳症(CTE)

長期的な後遺症のリスクを減らすためには、いかなる脳振盪後にも完全に回復したことを確認することが最善の策である。

12. 有用なリンク

1. ベルリン コンセンサス声明 2017

<http://bjsm.bmj.com/content/51/11/838>

2. SCAT5 2017 (医師のみ)

<http://bjsm.bmj.com/content/bjsports/early/2017/04/26/bjsports-2017-097506SCAT5.full.pdf>

3. SCAT5 CHILD 2017 (医師のみ)

<http://bjsm.bmj.com/content/bjsports/early/2017/04/26/bjsports-2017-097492childscat5.full.pdf>

4. PCRT 2017

<http://bjsm.bmj.com/content/early/2017/04/26/bjsports-2017-097508CRT5>

これらのツールは英語圏で使用するために作成されている;適切なバージョンが使用されるべきであり、他の主要な言語への翻訳が進行中である。

多くの競技が、医療従事者だけでなく、競技者、指導者、保護者、観客のためにも、脳振盪の専門的能力と教育のためのオンラインリソースを開発している。最も良いものの一つ:

<http://concussioninsport.gov.au>

FIS 脳振盪ガイドライン - 2013年7月

FIS メディカルガイド

2017 版

Staff Members Directory

公益財団法人 全日本スキー連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内
TEL:03-3481-2315 FAX:03-3481-2318
ホームページ:<http://www.ski-japan.or.jp/official/saj/index.html>

S A J アルペン委員会

SAJ 競技本部 技術・運営部 アルペン委員会

競技本部長 皆川 賢太郎

e-mail: alpine@ski-japan.or.jp

担当副本部長 中村実彦

e-mail: downhill55@gmail.com

委員長 加藤 清孝

e-mail: katoalpine@gmail.com

計時計算担当 大野正智 TEL:090-2697-2091

e-mail: ono@sage.ocn.ne.jp

S A J データバンク

〒140-0002 東京都品川区 東品川1-2-5 NOF品川港南ビル8F
TEL 03-3474-5302 FAX 03-3474-5255
E-mail: taikai@xcat.co.jp
ホームページ:<https://sajdb.xcat.co.jp/saj/Index.do>

FIS国際スキー連盟

INTERNATIONAL SKI FEDERATION

Blochstrasse 2 CH-3653 Oberhofen Thunersee (Suisse)

TEL:+41-33-244-61-61/ FAX:+41-33-244-61-71

ホームページ:[Http://www.fis-ski.com](http://www.fis-ski.com)

ftp-site:<ftp://ftp.fisski.ch>